

弁 護 側 反 証

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
一 関 係	2283	1895.4.17 下関条約	22. 2.26 (168)	LF/E/2283
	2284	同 上 附属条項	〃	LF/E/2284
	2285	同 上 議定書	〃	LF/E/2285
	2286	1895.5.5 陸奥外相→駐露西公使電(遼東半島放棄通告)	〃	LF/E/2286
	2287	1895.5.3 西公使→陸奥外相電(露ハ日ノ覚書ニ反対)	〃	LF/E/2287
	2288	1896.5 支露同盟秘密条約	〃	LF/E/2288
	2289	1899.12.20 在支日米権益保護ニ関スル交換覚書	〃	LF/E/2289
	2290	「ジョン・B・ポウエル」著 「在支二十五年」 (識別証拠)	〃	
	2291	義和団事件議定書	〃	LF/H/2291
	2292	1902.13.0 第一次日英同盟条約	〃	LF/E/2292
	2293	1905 第二次日英同盟条約	〃	LF/H/2293
	2294	1911 日英同盟ノ更新	〃	LF/E/2294
2295	1914.8 第一次大戦日本対独最後通牒	〃	LF/E/2295	
2296	1914.8 第一次大戦宣戦布告	〃	LF/E/2296	
2297	1920.7.8 日英同盟ニ関スル国際聯盟宛日英合同通告	〃	LF/E/2297	

立証段階	証書番号	資料名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
一般関係	2298	「ポーツマス」条約抜萃 追加約款	22.2.26 (168)	LF/E/2298
	2299	1905.11.17 日韓条約	"	LF/E/2299
	2300	1910.8.29 朝鮮併合ニ関スル声明	"	LF/E/2300
	2301	1910.8.22 朝鮮併合ニ関スル条約	"	LF/E/2301
	2302	1907.7.17~30 日露秘密条約	"	LF/E/2302
	2303	1915.6.7 露蒙中三国条約	"	LF/E/2303
	2304	1921.11.5 ソ外蒙協定	"	
	2305	1924 米国移民法	"	LF/E/2305
	2306	「グルー」著「在日十年間」 (識別証拠)	"	
	2307	1925.1.20 日「ソ」基本条約締結ニ際シ日「ソ」大使交換公文書	"	LF/E/2307
	2308	同上 議定書甲	"	LF/E/2308
	2309	同上 議定書乙	"	LF/E/2309
	2310	同上 ソ聯大使声明	"	LF/E/2310
	2311	同上 ソ聯全権ノ公文覚書	22.2.27 (169)	LF/E/2311
2312	日「ソ」基本条約連署国議定書	"	LF/E/2312	
2313	1928.1.23 日露漁業条約	"	LF/E/2313	

立証段階	書証番号	資料名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
一般関係	2314	合衆国政府印刷局発行「戦争抛棄ノ為ノ条約」 (識別証拠)	22.2.27 (169)	
	" A	同上抜萃 1928年ニ於ケル各国間ノ書翰及「パリ」会議ニ於ケル「ブリアン」首相演説	"	LF/E/2314A
	2315	「スコット」著「1899年及1907年「ヘーグ」会議報告」 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1907年「ヘーグ」条約第三号ニ関スル委員会ニ於ケル各国代表ノ発言	"	LF/E/2315A
	2316	1911.2.21 日米通商航海条約	"	LF/E/2316
	2317	1917.11.2 石井・「ランシング」協定附属交換公文	"	LF/E/2317
	2318	1923.11.12 米國務卿ト日本大使間ノ覚書 (同上協定ノ廃棄)	"	LF/E/2318
	2319	合衆国政府印刷局発行「華府軍縮会議」 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 加藤大将ノ「行政ノ安全」ニ関スル質問	"	LF/E/2319A
	" B	同上極東問題会議ニ於ケル日本代表ノ声明 (中国駐兵, 領事館警察)	"	
	" C	同上極東問題会議ニ於ケル植原代表ノ声明 (関東洲租借地)	"	LF/E/2319C
	" D	同上 (中国ニ於ケル駐兵)	"	LF/E/2319D
	" E	同上極東問題会議ニ於ケル幣原代表ノ声明 (中国ノ門戸開放)	"	LF/E/2319E
	" F	同上 (シベリヤ出兵)	"	LF/E/2319F
	" G	同上 (対支二十一ヶ条条約)	"	LF/E/2319G
	" H	同上極東問題会議ニ於ケル米代表ノ発言 (同上)	"	LF/E/2319H

立証段階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷に提出年月日 (公判日次)	請求記号
一	2320	日本側編纂「華府軍縮会議」 (識別証拠)	22. 2. 27 (169)	
	" A	同上抜萃 1922 軍備制限会議第5回総会決議第9 「支那国軍隊ノ削減ニ関スル決議」	"	LF/E/2320A
	2321	1915.11.30 仏英日露伊单独不媾和協定	"	LF/E/2321
	2322	1941.8.14 発表英米共同宣言 (太西洋憲章)	"	LF/E/2322
	2323	国際聯盟日誌 (識別証拠)	22. 3. 3 (171)	
	(D475 抜)	聯盟理事会報告 (却下)	"	
	2324	外務省編 「英国首脳者演説集」 (識別証拠)	"	
	(D478 抜)	下院ニ於ケル「チャーチル」演説 (却下)	"	
	2325	米印刷局発行 「第二次世界大戦ヲ惹起セル諸事件」 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 バルチック諸国 (却下)	"	LF/E/2325A
関	2326	「ソ」聯「エストニヤ」間条約 (却下) (識別証拠)	"	LF/E/2326
	2327	書証番号2325号抜萃 ポーランド問題 (却下) (同上)	"	LF/E/2327
	2328	同上 ラトビア問題 (却下) (同上)	"	LF/E/2328
	2329	日外務省 「ルーマニヤ」ニ対スル「ソ」聯ノ行動 (却下) (同上)	"	LF/E/2329
係	2330	1941.12.20 ニューヨーク・タイムス (同上)	"	
	" A	同上抜萃 チモールヨリノ英蘭軍撤兵要求ニ関スル「ポルトガル」首相ノ議会演説	"	LF/E/2330A

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
一	2331	41.4.11 ニューヨーク・タイムス (識別証拠)	22. 3. 3 (171)	
	" A	同上抜萃 米国「グリーンランド」ノ保護国トスル協定(却下)	"	LF/E/2331A
	2332	「第二次世界大戦ニ至ル迄」抜萃 グリーンランド(却下)	"	LF/E/2332
	2333	1941.7.8 ニューヨーク・タイムス(識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 「ルーズベルト」議会議書中「アイスランド」ノ項(却下)	"	LF/E/2333A
	2334	1943.2.20 日本タイムス (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 「原子爆弾決定」ニ関スル「スチムソン」元陸軍長官ノ声明(却下)	"	
	2335	戦争発起人ノ責任調査委員会報告(却下) (識別証拠)	"	LF/E/2335
	2336	国際聯合憲章 (同上)	"	LF/E/2336
	関	2337	書証番号2335号抜萃 「ランシング」及び「スコット」米代表ノ報告ノ部分 (同上)	22. 3. 4 (172)
2338		書証番号2336号抜萃 第39,41,42条 (同上)	"	
2339		「1910~1923年間ノ米国ノ条約協定其ノ他」(同上)	"	
" A		同上抜萃 米英其ノ他諸国間ノ1922年ノ諸条約中「戦時中、中立国員及非戦闘員ノ保護及毒ガス使用防止ニ関スル条約」	"	LF/E/2339A
係	2340	外務省文書課長林薫宣誓口述書(同上条約ノ批准国ハ日英米伊ナリ)	"	LF/E/2340
	2341	1925年「ブカレスト」国際会議報告書(個人責任) (識別証拠)	"	LF/E/2341
	" A	同上抜萃(米国委員ノ報告) (同上)	"	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
一般関係	2342	米国発行「国際法雑誌」第9号(識別証拠)	22. 3. 4 (172)	
	" A	同上抜萃 1934年ブタベスト会議ニ関スル記事(個人責任) (同上)	"	LF/E/2342A
	2343	書証番号58号抜萃 1937.12.13「ヘル」長官→「グラー」大使電(パネー号事件ニ関シ日本ニ対スル要求申入レノ訓令)	"	LF/E/2343
	2344	1928~1945年間日本各内閣ノ構成ヲ示ス図表	"	LF/E/2344 〔証明書〕
	2345	1931.11.17 木戸日記 (識別証拠)	22. 3. 5 (173)	
	2346	平沼内閣辞職理由声明書(御手洗証人手書ノモノ) (同上)	"	
	2347	1946.2.1 東条被告訊問調書抜萃(三国同盟条約締結ニ関シ陸軍ノ見解ヲ内閣ニ押シツケタルコトナシ)	22. 3. 6 (174)	LF/E/2347
	2348	1946.2.6 同上(御前会議ト閣議ノ決定権)	"	LF/E/2348
	2349	1946.2.1 東条被告訊問調書 (識別証拠)	"	
	2350	1946.2.6 同上(同上)	"	
	2351	1943.1.15 大東亜会議ニ於ケル泰国代表ノ演説	22. 3.10 (176)	LF/E/2351
	2352	1943.1.15 大東亜会議ニ於ケル比島代表ノ演説	"	LF/E/2352
	2353	同上 大東亜会議ニ於ケル「ビルマ」代表ノ演説	"	LF/E/2353
	2354	「グラー」著「滞日十年間」抜萃 東亜新秩序ニ関スル日記(却下セラル)	"	LF/E/2354
	2355	佐伯愆義著「立国史」第1巻「日本書紀」 (識別証拠)	22. 3.11 (177)	
	2356	飯田武郷著「日本書紀註釈」(同上)	"	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年 月 日 (公判日次)	請求記号
一般	2357	高須芳次郎著「大日本詔勅謹解」(識別証拠)	22. 3.11 (177)	
	2358	大槻文彦著「大言海」第3巻(同上)	〃	
	2359	同上 第1巻(同上)	〃	
	2360	池田四郎次郎著「古語熟語大辞典」(同上)	〃	
	2361	「チャールズ・B・フェーズ」著「日本ニ於ケル政情」(同上)	〃	
	〃 A	同上抜萃 政党史, 政党ノ没落ト軍人勢力ノ抬頭	〃	LF/E/2361A
	〃 B	同上	〃	LF/E/2361B
	〃 C	同上抜萃 文官勢力ノ拡大, 軍人ノ政治力ノ影響, 其ノ他	〃	LF/E/2361C
	2362	1941年議會ニ於ケル近衛首相ノ演説(大政翼賛會)	〃	LF/E/2362
	2363	安藤紀三郎宣誓口述書(大政翼賛會ノ性格)	〃	
	2364	1941.1.28 議會議事録(大政翼賛會ノ性格ニ関スル平沼内相ノ答弁)	〃	LF/E/2364
	2365	1939.1.24 議會委員会記録(皇道主義ト全体主義ニ関スル平沼首相ノ答弁)	〃	LF/E/2365
	2366	次田大三郎宣誓口述書(陸海軍大臣ノ現役制復帰ノ経緯)	〃	LF/E/2366
	係	2367	1936.5.6 枢密院審査委員会記録(同上)	〃
2368		吉野信次宣誓口述書(支那事変以前ノ商工政策)	22. 3.12 (178)	
2369		小野猛宣誓口述書(海軍造船業発達ノ状況)	22. 3.13 (179)	LF/E/2369

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
一 般 関 係	2370	1937.1.21 第七十議會ニ於ケル有田外相ノ演説 (防共協定ノ真意, 共產活動ニ対スル防衛其ノ他)	22. 3.14 (180)	LF/E/2370
	2371	1936.11.25 外務省声明(赤化防衛ノ警告ト日 独防共協定ノ真意)	〃	LF/E/2371
	2372	「ハーレット・アベント」著「苦悶スル中国」 (識別証拠)	〃	LF/E/2372
	2373	「ジョン・B・パウエル」著「在支二十五年」抜 萃 1929年国境ニ於ケル中「ソ」衝突	〃	LF/E/2373
	2374	同 上 西安事件ニ關聯上海, 南京ノ混乱状況	〃	LF/E/2374
	2375	同 上 「モスコー」ニ於ケル閱兵式ノ状況	〃	LF/E/2375
	2376	同 上 「ウラヂオ」ニ於ケル朝鮮人聯隊ノ訓練	〃	LF/E/2376
	2377	吉田彰雄中佐宣誓口述書(学校教練ト青年訓練ノ 目的)	〃	LF/E/2377
	2378	岩松五良宣誓口述書(学校軍事教練ノ変遷)	22. 3.17 (181)	LF/E/2378
	2379	1938.1.130 「1935年青年学校教練査閲規定 強化ニ關スル勅令」 (識別証拠)	22. 3.18 (182)	
満 洲 関 係	2380	1895.4.23 独大使ノ遼東半島放棄要求文	22. 3.19 (183)	LF/E/2380
	2381	1895.4.30 在独露公使宛 同上解答文	〃	LF/E/2381
	2382	1895.5.5 同 上	22. 3.20 (184)	LF/E/2382
	2383	1915.5.25 満蒙關係日華条約	22. 4. 2 (188)	LF/E/2383
	2384	1927.6.27 田中外相→加藤天津総領事電(溥儀ノ 渡満, 渡日ニ反対)	〃	LF/E/2384
	2385	1929.1.16 関東庁→拓植局長其ノ他電(恭親王, 擁立計画)	〃	LF/E/2385

立証 段階	証 階 番 号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
満 洲	2386	1929.2.5 在支堀代理公使→田中外相電(支那ノ日本商品没収ニ関シ)	22. 4. 2 (188)	LF/E/2386
	2387	1929.4.24 在鉄嶺領事→田中外相電(支那ノ対日本人宅地貸借禁止密令)	〃	LF/E/2387
	2388	1929.8.2 関東庁→拓務次官電(中国ノ外人ニ対スル土地所有制限ニ関シ)	〃	LF/E/2388
	2389	1929.8.19 間島総領事→弊原外相電(朝鮮人農民ニ対スル土地所有制限ニ関シ)	〃	LF/E/2389
	2390	1929.11.8 吉林総領事→弊原外相電(水田管理ハ支那人ニ限ル件)	〃	LF/E/2390
	2391	1931.6.9 拓務省朝鮮部長→外務省「アジア」局長電(支那ノ土地売買罰則実施ニ関スルモノ)	〃	LF/E/2391
	2392	1937.7.22 ジャパン・クロニクル 拔萃 若槻首相演説(日本ノ大陸ニ於ケル権利)	〃	LF/E/2392
	2393	1931.8.5 同 上 師団長会議ニ於ケル南陸相演説	〃	LF/E/2393
	2394	1931.8.16 同 上 満洲ニ於ケル鮮人迫害	〃	LF/E/2394
	2395	1931.9.6 同 上 若槻男爵ノ演説	〃	LF/E/2395
関 係	2396	1931.9.9 同 上 蔣介石演説 中村事件	〃	LF/E/2396
	2397	1931.9.16 同 上 蔣介石繰返シ日本ヲ非難	〃	LF/E/2397
	2398	1931年度満洲年鑑ヨリノ拔萃 日本ノ統治概要	〃	
	2399	金井章次口供書(満洲事変后ノ満洲ノ情况)	〃	LF/E/2399
	2400	本庄一雄口供書(本庄大将遺書ノ確認)	〃	LF/E/2400
	2401	本庄大将遺書(昭和21年9月)	〃	LF/E/2401

立証 段階	証 階 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
満 洲	2402	川村享一口供書(下記書証ノ確認)	22. 4. 2 (188)	LF/E/2402
	2403	「満洲事変ノ本質」本庄大将口述手記	〃	LF/E/2403
	2404	平田幸弘少将口述書(満洲事変勃発時ノ在奉天部隊ノ行動)	22. 4. 3 (189)	LF/E/2404
	2405	武田寿中将口述書(満洲事変勃発後ノ関東軍行動)	〃	LF/E/2405
	2406	1931.10.13 林奉天総領事→弊原外相電(張海鵬ガ日本軍ヨリ武器、資金ノ供給ヲウケアリ)	22. 4. 4 (190)	LF/E/2406
	2407	同 上	〃	LF/E/2407
	2408	河辺虎四郎中将宣誓口述書(満洲事変前後ノ参謀本部ノ処置判断)	〃	LF/E/2408
	2409	1931年参謀本部作戦「謀略計画要綱」	〃	LF/E/2409
関 東 係	2410	「ヘンソン」等記者団爆破現場視察ニ関スル島本独立守備大隊長声明	22. 4. 8 (191)	LF/E/2410
	2411	関東軍配備地図	〃	LF/E/2411
	2412	遠藤三郎口供書(関東軍ノ「ホロンパイル」熱河肅静行動河北進出)	〃	LF/E/2412
	2413	1932.6.22 吉沢外相演説(於貴院 満洲関係)	〃	LF/E/2413
	2414	1937.4.29 奉天ヨリノ聯盟調査委員会予備報告	〃	LF/E/2414
	2415	1919 関東軍司令部規則	〃	LF/E/2415
	2416	1932.1.29 第一次上海事変日本政府声明	〃	LF/E/2416
	2417	1932.2.7 同 上	〃	LF/E/2417

立 証 段 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 = 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号
満	2418	1932.3.24 犬養首相演説(於貴院 満洲関係)	22. 4. 8 (191)	LF/E/2418
	2419	1932.5.5 同上停戦協定	〃	LF/E/2419
	2420	鮫島具重口供書(第一次上海事変)	〃	LF/E/2420
	2421	北浦豊男口供書(同上)	〃	LF/E/2421
	2422	丹下薫二口供書(南京砲撃)	22. 4. 9 (192)	LF/E/2422
洲	2423	大山文雄口供書(奉天事件)	〃	LF/E/2423
	2424	和知鷹二口供書(三,十月事件 桜会)	〃	LF/E/2424
	2425	1932.2.18 東北行政委員会ノ「満蒙新国家独立宣言」	22. 4.10 (193)	LF/E/2425
	2426	1934.3.1 溥儀執政ノ満洲国皇帝即位ノ詔勅	〃	LF/E/2426
	2427	1933.3.27 日本ノ国際聯盟脱退時ノ詔勅	〃	LF/E/2427
関	2428	1935.3.23 満洲国「ソ」聯間最終議定書	〃	LF/E/2428
	2429	1932.3.1 満洲国建国宣言	〃	LF/E/2429
	2430	1936年日満年鑑抜萃 1935年満洲国ニ於ケル主要職員一覧表	〃	LF/E/2430
	2431	1933.2.24 国際聯盟十九人委員会採択案ニ対スル松岡代表ノ演説	〃	LF/E/2431
	2432	1935年日満年鑑抜萃 1934.8.9 満洲国ノ治外法権撤廃ニ関スル外務省局談	〃	LF/E/2432
係	2433	1934.9.4 満洲国「ソ」聯間航海ニ関スル協定	〃	LF/E/2433

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
満洲	2434	1936.1.22 官報抜萃 第六十八議会ニ於ケル広田外相ノ演説(満洲国ノ治外法権撤廃其ノ他)	22. 4.10 (193)	LF/E/2434
	2435	南被告宣誓口述書(陸相, 関東軍司令官其ノ他公職在職中ノ処置行動)	22. 4.11 (194)	LF/E/2435
	2436	1927.10.6 南参謀次長→小松原駐「ソ」武官(戦時謀報ニ関シ宣伝謀略上利用シ得ベキ結社団体等ニ関スル調査ノ件)	22. 4.15 (196)	LF/E/2436
	2437	1938.9.23 南朝鮮総督→字垣外相書簡(漢口陥落ニ伴フ対支施策ニ関スル意見)	22. 4.16 (197)	LF/E/2437
	2438	橋田謙吉大将口供書(関東軍ノ対満根本の態度, 治外法権撤廃, 司令官ト皇帝協和会トノ関係, ソノ他)	22. 4.17 (198)	LF/E/2438
関係	2439	松本依口供書(満洲国官制)	"	
	2440	高村廉口供書(溥儀ノ南大將宛書面鑑定)	"	
	2441	名波敏郎口供書(丁鑑修ハ溥儀→南大將書面ヲ親筆トセリ)	22. 4.18 (199)	LF/E/2441
	2442	満洲国建国ニ関スル外務省文書	"	LF/E/2442
	2443	鹿兒島虎雄口供書(溥儀ハ神道ヲ主唱セリ)	"	LF/E/2443
	2444	1942年満洲国年鑑 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 宗教ニ関スル統計	"	LF/E/2444A
	2445	石丸志都丸口供書(溥儀ハ政治ニ積極的)	"	LF/E/2445
	2446	1925年阿片ニ関スル日英仏和支葡泰条約	"	LF/E/2446
	2447	1930年国際聯盟極東阿片委員会ヘノ報告	"	
" A	同上抜萃(比島, 台湾, 関東州ニ於ケル阿片全面的禁止ハ不成功)	"	LF/E/2447A	

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
満洲	2448	昭和17年満洲国年鑑抜萃 阿片専売ノ目的	22. 4.18 (199)	LF/E/2448
	2449	台湾ニ於ケル阿片統制	〃	LF/E/2449
	2450	阿片法制定ニ際スル満洲国々務総理布告	〃	LF/E/2450
	2451	聯盟委員会ヘノ報告抜萃 台湾ノ喫煙者減少	〃	LF/E/2451
	2452	同上 極東政府ノ阿片政策特長	〃	LF/E/2452
	2453	同上 各国ノ阿片財政収入	〃	LF/E/2453
	2454	同キ処置 上 委員会ヘノ結論 聯盟ノ採ルベ	〃	LF/E/2454
	2455	同上 昭16年迄ノ満洲ノ阿片政策	〃	LF/E/2455
	2456	満洲国阿片法(昭和7年制定, 昭和13年改正)	〃	LF/E/2456
	2457	満洲改正阿片規則	〃	LF/E/2457
関	2458	満洲国年鑑抜萃 阿片栽培地減少	〃	LF/E/2458
	2459	満洲国麻薬法	〃	LF/E/2459
	2460	満洲国国务院特別予算 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 阿片関係	〃	LF/E/2460A
係	2461	満洲国国务院一般会計予算 (同上)	〃	
	〃 A	同上抜萃	〃	LF/E/2461A

立証 段階	書証 番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
満 洲	2462	難波経一口供書（満洲阿片取締経緯）	22. 4. 18 (199)	LF/E/2462
	2463	同上（検察側文書）	22. 4. 21 (200)	LF/E/2463
	2464	満洲年鑑抜萃 通貨安定策	〃	LF/E/2464
	2465	同上 阿片飲者救済十ヶ年計画トソノ結果	〃	LF/E/2465
	2466	武藤富男口供書（満洲ニ於ケル官庁ガ日系官吏ノ 独占ナラザリシ事ヲ強調）	〃	LF/E/2466
	2467	1934年満洲国国务院公布「満洲国政治大綱」 (識別証拠)	〃	LF/E/2467
関 係	〃 A	同上抜萃 政府ノ概観	〃	LF/E/2467A
	〃 B	同上抜萃 税ノ削減	〃	LF/E/2467B
	〃 C	同上抜萃 円価ノ低減	〃	LF/E/2467C
	2468	1937年満洲国総務庁統計処発行「国家財政ノ状 態」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 張時代トノ比較	〃	LF/E/2468A
	2469	1938年満洲国総務庁統計処発行「国家ノ財政ノ 状態」 (識別証拠)	〃	
係	〃 A	同上抜萃 国防並ニ保安経費ノ減少ヲ示ス	〃	LF/E/2469A
	2470	1939年満洲国総務庁統計処発行「国家財政ノ状 態」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 国防並ニ保安経費ノ減少ヲ示ス	〃	LF/E/2470A
	2471	満洲年鑑 第3号(1938年刊) (識別証拠)	〃	

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
満洲 関 係	2471 A	満洲年鑑第3号(1938年刊)抜萃 農村金融組合ノ設置	22. 4.21 (200)	LF/E/2471A
	2472	奥村真次口供書(満洲ノ五ヶ年計画ハ「ソ」ノソレニ刺激 サレタルモノニシテ満洲国政府及満鉄ガ計画)	〃	LF/E/2472
	2473	「重工業及武器工業ノ発達」 モロトフ言明 (識別証拠)	〃	LF/E/2473
	〃 A	同上抜萃 (一部ノミ受理)	〃	LF/E/2473A
	2474	岸信介(満洲国産業部次長)演説(産業五ヶ年計画ハ各種産業開発ヲ目的トシ支那事変ト関係ナン)	〃	LF/E/2474
	2475	田中恭口供書(満洲国財政部門ノ整備, 満業ノ目的, 事業ノ実施)	22. 4.22 (201)	LF/E/2475
	2476 A~D	満洲国治外法権撤廃ニ関スル条約並附属協定	〃	LF/E/2476 A~D
支那 関 係	2477	蘆溝橋事件ヨリ大本營設置迄ノ期間ニ於ケル諸事件経過一覽表	〃	
	2478	「ロバート・クレギー」著「Behind the Japanese Mask」 (識別証拠)	〃	LF/E/2478
	2479 A	河辺正三大将口供書(蘆溝橋事件)	〃	LF/E/2479A
	2480	桜井徳太郎大佐口供書(1937.7.26 広安門事件)	〃	LF/E/2480
	2481	和智恒蔵海軍大佐口供書(大和田通信隊ニ於ケル北平米武官ノ電報傍受)	〃	LF/E/2481
	2482	和智鷹二中将口供書(蘆溝橋事件前後ノ北支派遣軍ノ行動)	22. 4.23 (202)	LF/E/2482
	2483	1902.7.15日英仏独伊代表ノ清国政府ニ対スル覚書(清国官憲ニ対スル天津ノ行政ノ還付ノ件)	〃	LF/E/2483
	2484	1902.7.18天津ノ清国政府ノ之ニ対スル回答	〃	LF/E/2484
2485	1912.1.26清国革命ニ際シ北平山海関鉄道武力占領ニ関スル在北平外交団ノ採択セル決議	〃	LF/E/2485	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
支	2486	1913.10.10 国民政府首席ノ条約及既得權益尊重 ニ関スル声明	22. 4.23 (202)	LF/E/2486
	2487	橋本群中將口供書 (蘆溝橋事変前後ノ北支軍ノ行 動其ノ他)	〃	LF/E/2487
	2488	田中新一中將口供書 (蘆溝橋事変前後ノ北支軍中) 央部ノ判断処置)	〃	LF/E/2488
	2489	河辺虎四郎中將口供書 (昭和9~11年間ノ北支ノ 内蒙事情ト関東軍トノ関係)	22. 4.24 (203)	LF/E/2489
	2490	柴山兼四郎中將口供書 (梅津・何応欽協定成立迄 ノ北支ノ事情)	〃	LF/E/2490
	2491	石川順口供書 (梅津・何応欽協定成立ノ経緯, 梅 津司令官ノ人格, 言動)	〃	LF/E/2491
	2492	終戦時焼却書類ノ証明書 (1937.7.13「北支事変 処理方針」)	〃	LF/E/2492
	2493	同 上 (1937.7.8 参謀総長→北支軍司 令官電)	〃	LF/E/2493
	2494	同 上 (1937.7.9 参謀次長→北支軍参 謀長電)	〃	LF/E/2494
	関	2495	外務省当局論評 (1937.7.18 支那当局トノ交渉)	22. 4.25 (204)
2496		外務省「スポークスマン」発表 (1937.7.20 天 津総領事ノ交渉)	〃	LF/E/2496
2497		1937.7.21 第七十一議会 広田外相演説	〃	LF/E/2497
2498		萱島高口供書 (通州事件目撃情况)	〃	
2499		桂鎮雄口供書 (同 上)	〃	LF/E/2499
2500		桜井文雄口供書 (同 上)	〃	
〃 A~C		桜井証人撮影写真 (虐殺サレタ日本人屍)	〃	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
支那	2501	天津総領事ヨリノ報告(1937.7.29 治安維持委員会)	22. 4.25 (204)	LF/E/2501
	2502	1937.9.5 第七十二議会広田外相演説	"	LF/E/2502
	2503	1937.9.2 広田外相ノ新聞記者ニ対スル談話	"	LF/E/2503
	2504	続対支回顧録 (識別証拠)	"	LF/E/2504
	2505	古山勝夫口述書(1933.7 大連会議)	22. 4.28 (205)	LF/E/2505
	2506	1935.6.10 国民政府発布「敦陸那交令」	"	LF/E/2506
	2507	1936.5.6 第六十九議会ニ於ケル有田外相演説	"	LF/E/2507
	2508	1937.2.15 第七十議会ニ於ケル林外相演説	"	LF/E/2508
	2509	1939.1.1 有田外相ノ年頭所感	"	LF/E/2509
	関係	2510	1928.11.24 堀内支那代理公使→田中外相報告(国民政府ノ日貨登記条例ノ発布及反日標語ニ関スル件)	"
2511		1929.8.14 堀内支那代理公使→弊原外相(北平廃約促進会ノ設定ニ関スル件)	22. 4.29 (206)	LF/E/2511
2512		1929.8.19 重光総領事→弊原外相(反日組織ノ支那下部組織ニマデ滲透セル件ノ報告)	"	LF/E/2512
2513		外務省「アジャ」局発行「中共ノ活動ニ関スル報告書」(識別証拠)	"	LF/E/2513
2514		1936.12.24 河相上海総領事→有田外相電(西安事件后ノ共産党ニヨリ救国抗日戦線ノ結成)	22. 4.30 (207)	LF/E/2514
2515		岡本季正口供書(第二次上海事変)	"	LF/E/2515
2516		1937.8.12 在上海共同委員会々議録	"	LF/E/2516

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
支 那	2517	1937.6.23 在上海共同委員会々議録	22. 4.30 (207)	LF/E/2517
	2518	武田勇少将口述書(第二次上海事変)	22. 5. 1 (208)	LF/E/2518
	2519	1937.9.6 広田外相→「クレギー」(ヒコーグ ッセン事件)	22. 5. 2 (209)	LF/E/2519
	2520	1937.9.23 「クレギー」→広田外相(同上)	〃	LF/E/2520
	2521	1937.12.14 広田外相→「グルー」(パネー号事 件)	〃	LF/E/2521
	2522	1937.12.24 外務省発表 (同上)	〃	LF/E/2522
	2523	1937.12.26 「グルー」→広田外相(同上)	〃	LF/E/2523
	2524	1938.3.23 外務省発表(パネー号事件ノ賠償額)	〃	LF/E/2524
	2525	米國務省編纂「Peace and War」(パネー号 事件 賠償支払済ヲ示ス)	〃	LF/E/2525
	関	2526	青木武口供書(パネー号事件)	〃
2527		1937.12.14 広田外相→「クレギー」(レディ バード事件)	〃	LF/E/2527
2528		英外務省文書(駐日英国使節団長署名同上賠償問題)	〃	LF/E/2528
2529		戸塚道太郎口供書(大陸爆撃)	〃	LF/E/2529
係		2530	三並貞三口供書(南京爆撃「パネー」号事件)	22. 5. 5 (210)
	2531	1937.9.30 日本政府→米政府(南京爆撃解答)	〃	LF/E/2531
	2532	小林淑人口供書(対支航空戦広東爆撃)	〃	LF/E/2532

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
支那	2533	1938.6.6 宇垣外相ノ外人記者ニ対スル談話	22. 5. 5 (210)	LF/E/2533
	2534	1938.12.19 外務大臣声明(日華ブロック建設)	"	LF/E/2534
	2535	1938.12.22 近衛首相声明(対支行動ニツキ)	"	LF/E/2535
	2536	松井石根大将伝記 (識別証拠)	"	
	2537	日高信六郎口供書(南京攻略)	"	LF/E/2537
	2538	平本道隆口供書(重慶爆撃)	"	LF/E/2538
	2539	山本善雄口供書(沿岸封鎖)	"	LF/E/2539
	2540	米國務省編纂「Peace and War」抜萃 1937.9.14 米大統領声明(日支両国ニ中立法ノ適用)	"	LF/E/2540
	2541	榎本重治口供書(海軍省発布国際法関係書類ノ確認, 海軍ノ国際法遵守)	22. 5. 6 (211)	LF/E/2541
関係	2542	1937.7 榎本書記官述「空戦ニ関スル標準」	"	LF/E/2542
	2543	1937.9 同上「爆撃規則ニ関スル雑件」	"	LF/E/2543
	2544	1937.10.15 軍務局長→部長→3F参謀長「俘虜取扱ニ関スル件照会」	"	LF/E/2544
	2545	1937.11.21 軍務局長→部長→CSF, 4S参謀長「船舶ノ臨検拿捕ニ関スル件申進」	"	LF/E/2545
	2546	1937.12.31「クレギー」大使→広田外相(12~28, 日本ノ船舶保護ニ関スル保証ニ対スル回答)	"	LF/E/2546
	2547	1937.9.2「コロンビヤ」放送網ニオケル堀内外務次官ノ演説(日本ノ対華政策, 支那事変ノ遠因・近因, 米国民ノ支那事変ノ認識要望)	"	LF/E/2547
	2548	塚本浩治口述書(南京暴行事件ノ実情)	"	LF/E/2548

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
支那	2549	吉川正治少佐口述書(漢口暴行事件ノ否認)	22. 5. 6 (211)	LF/E/2549
	2550	吉川源三中佐口述書(同上)	"	LF/E/2550
	2551	吉橋戒三口述書(同上)	"	LF/E/2551
	2552	齋藤寅郎口述書(同上)	"	LF/E/2552
	2553	大木栄一口述書(同上)	"	LF/E/2553
	2554	小川三郎口述書(同上)	"	LF/E/2554
	2555	池田竜三郎口述書(同上)	"	LF/E/2555
	2556	宮崎周一口述書(同上)	"	LF/E/2556
	2557	森岡泉中將口述書(同上)	"	LF/E/2557
	関	2558	益田兼利口供書(桂林攻略ノ暴行事件否定)	22. 5. 7 (212)
2559		赤木喜代治口供書(漢口攻略ノ暴行事件否定)	"	LF/E/2559
2560		大山文雄口供書(陸軍ノ司法一般)	"	
(2479A)		河辺正三大將口述書(中支軍ノ一般任務, 除州, 漢口作戰, 暴行事件及阿片政策ノ否定)	"	
係	2561	1938.10.24 畑中支派遣軍命令(漢口入城ニ際シテノ軍ノ規制)	22. 5. 8 (213)	LF/E/2561
	2562	1942.12.8 支那派遣軍司令部作成「大東亞戦争下ノ支那派遣軍將兵」抜萃 河辺総參謀長ノ部下部隊ニ対スル報道記録ノ一部(軍紀ノ確立, 対中国人ノ心構へ)	"	LF/E/2562
	2563	長谷川清大將口述書(蘆溝橋事件当時 ^P 3Fトシテノ所在, 行動)	"	LF/E/2563

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
支那	2564	天野正一少将口述書(漢口, 衡陽, 長沙, 桂林作戰, 暴行事件ノ否認)	22. 5. 8 (213)	LF/E/2564
	2565	1944.7.6朝日新聞記事抜萃 1943.6.20畑軍司令官ノ对中国民々衆ニ対スル心構ノ訓示「将兵ニ告グ」	〃	LF/E/2565
	2566	牛島定雄口述書(杭州入城時ノ状況, 便衣隊難民, 暴行事件ノ否認)	〃	LF/E/2566
	2567	佐野虎太中将口述書(漢口入城ノ状況, 暴行事件ノ否定)	〃	LF/E/2567
	2568	歩兵第二十三聯隊ノ一隊ガ漢口仏租界行進中ノ写真	〃	LF/E/2568
	2569	歩兵第二十三聯隊ノ聯隊本部ガ漢口日本人租界行進中ノ写真	〃	LF/E/2569
	2570	部隊ノ進入道路, 配宿地ノ概要ヲ記入セル漢口市土地地区一覽表	〃	LF/E/2570
	2571	桜井徳太郎大佐口述書(華北ニ於ケル暴行事件ノ否認)	〃	LF/E/2571
	2572	横山勇中将口述書(長沙, 衡陽, 桂林, 柳州作戰, 暴行事件ノ否認)	〃	LF/E/2572
関係	2573	有賀一永兵長口述書(桂林, 柳州作戰, 暴行事件ノ否定, 畑ノ部下統率)	〃	LF/E/2573
	2574	中村辰二大佐口述書(阿片問題)	22. 5.12 (214)	LF/E/2574
	2575	森徳治少将口述書(同上)	〃	LF/E/2575
	2576	川本芳太郎口述書(北支開発株式会社設立目的)	〃	LF/E/2576
	2577	中山寧人少将口述書(南京攻略)	〃	LF/E/2577
	2578	同上中文書不在証明	〃	LF/E/2578
	2579	及川源七中将口述書(日本ノ対支經濟政策)	22. 5.13 (215)	LF/E/2579

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
支那 関係	2580	文書不存在ニ関スル第一復員局ノ証明書(1937.7.29「对支作戦計画大綱」)	22. 5.13 (215)	LF/E/2580
	2581	同上 (1937.7.16「北支事変解決策」)	〃	LF/E/2581
	2582	河辺虎四郎中將口述書(支那事変前後ノ中央統帥部ノ判断処置)	〃	
	2583	藤井茂大佐口供書(阿片問題)	22. 5.14 (216)	LF/E/2583
満洲 関係	2584	石原莞爾中將囑託訪問報告書(満洲事変後ノ関東軍ノ軍事行動)	〃	LF/E/2584
支那	2585	清水董三口述書(汪精衛ト平沼, 板垣, 米内, 石渡, 有田, 近衛会談ノ状況)	22. 5.15 (217)	LF/E/2585
	2586	1939.6.12「米内海相・汪精衛会談要領」(外務省保管)	〃	LF/E/2586
	2587	1939.6.14「近衛無任所相・汪精衛会談要領」(同上)	〃	LF/E/2587
	2588	1939.6.15 汪精衛ヨリ板垣陸相ヘノ提示「時局收拾ニ関スル具体的便法」	〃	LF/E/2588
	2589	1943年版「同生共死」(国民政府要人ノ演説公式声明集) (識別証拠)	〃	LF/E/2589
	2590	同上抜萃 1938.12.29於ハノイ 汪精衛演説(北支四省ノ解決ノ希望)	22. 5.16 (218)	
関	2591	同上 1939.7.10於上海 同上 (日支間ノ根本觀念)	〃	LF/E/2591
	2592	同上 1939.9.1 同上 (平沼首相トノ談話)	〃	LF/E/2592
	2593	同上 1939.9 汪精衛→重慶政府旧友電 (和平ヲ主張)	〃	LF/E/2593
係	2594	同上 1939.9.21於上海 汪精衛声明(臨時維新政府ニ協力要望)	〃	LF/E/2594
	2595	同上 1939.9.22 南京維新政府公式声明(対日協力ヲ示ス)	〃	LF/E/2595

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
支那	2596	1943年版「同生共死」抜萃 1939.9.23 北京臨時政府公式声明(対日協力ヲ示ス)	22. 5.16 (218)	LF/E/2596
	2597	同上 1939.1.2.9 於上海 周仏海演説(条件附ニテ日ト協力)	〃	LF/E/2597
	2598	同上 1940.1.2.2 於青島 林柏生演説(汪ノ和平運動経緯)	〃	LF/E/2598
	2599	同上 1940.1.1 於上海 陳公博演説(日支恒久和平ヘノ道)	〃	LF/E/2599
	2600	同上 1940.1.10 汪精衛→蔣介石電(和平勸告)	〃	LF/E/2600
	2601	同上 1940.1.24 汪精衛声明(新政府樹立ニ関シ)	〃	LF/E/2601
	2602	同上 1940.3.18 於南京 林柏生発表(新中央政府ノ機構)	〃	LF/E/2602
	2603	同上 1940.3.19 於南京 新政府樹立報告	〃	LF/E/2603
	2604	同上 1940.3.30 新政府政綱発表	〃	LF/E/2604
	2605	同上 1940.3.30 新政府遷都声明	〃	LF/E/2605
関係	2606	1940.4.6 有田外相演説(汪政権関係)	〃	LF/E/2606
	2607	「同生共死」抜萃 1940.4.26 於南京 汪精衛演説(日ノ反共政策ニ同意)	〃	LF/E/2607
	2608	同上 1941.5.12 汪精衛演説(清郷工作)	〃	LF/E/2608
	2609	同上 1942.7.1 同上(清郷工作一周年記念)	〃	LF/E/2609
	2610	1943.1.9 汪精衛・重光協定(共同租界返還, 治外法権撤廃)	〃	LF/E/2610
ソ関係	2611	「太平洋問題」第6回太平洋会議々事録(識別証換)	〃	LF/E/2611

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
ソ	2612	1939.7 満鉄調査部発行「抗日戦線統一運動史」 (識別証拠)	22. 5.16 (218)	LF/E/2612
	2613	書証番号 761 号抜萃 1936.3.28 板垣・有田 会談録(対「ソ」問題)	22. 5.19 (219)	LF/E/2613
	2614	1936.5.8 有田外相→武者小路駐独大使電(日独 関係ニ関スル明言ヲサケ、防共協定締結ニ関スル 独側意向内偵ノ指示)	〃	LF/E/2614
	2615	1936.11.18 杉村駐伊大使→有田外相電(日伊防 共協定締結希望ニ関スル「チアノ」伯ノ見解ノ伝 達)	〃	LF/E/2615
	2616	1936.11.28 同 上(日伊防共協定締結ニ 関スル伊側ノ希望伝達)	〃	LF/E/2616
	2617	1937.3.24 「ディルクセン」駐日独大使→独外相電 (佐藤外相トノ防共協定ニ関スル会談模様ノ報告)	〃	LF/E/2617
	2618	1937.5.25 杉村駐伊大使→佐藤外相電(伊ノ防共 協定参加申込ハ対英影響ヲ考慮シ拒絶スベキ旨ノ 意見具申)	〃	LF/E/2618
	2619	1939.5.15 「ヴァイツェッカー」國務次官→駐日 独伊大使電(日独伊防共協定草案ノ内容)	〃	LF/E/2619
	2620	終戦時書類焼却ニ関スル一復ノ証明書(関東軍関 係)	22. 5.20 (220)	LF/E/2620
	関	2621	橋本群中將口述書(書証番号 2621 号中引用文書 ニ関スルモノ)	〃
2622		同 上(除州作戦、武漢作戦、張鼓峰事件、 ノモンハン事件ニ対スル中央ノ判断処置)	〃	LF/E/2622
(766-A)		書証番号 766 号添附地図(橋本証人ガ「ノモンハ ン」国境ヲ記入セルモノ)	〃	
(767-A)		書証番号 767 号添附地図(同 上)	〃	
(767-B)		同 上(日本版)(同 上)	〃	
2623		「ノモンハン」事件ニ関スル「タス」通信社発表 (イズベスチャ紙)	22. 5.21 (221)	
2624		波多野乾一口供書(中共問題)	〃	LF/E/2624

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
ソ 聯 関 係	2625	毛沢東「持久戦論」	22. 5.21 (221)	
	2626	清露国境追加条約(1860.11.14)	〃	LF/E/2626
	2627	支「ソ」国境条約	〃	LF/E/2627
	2628	田中隆吉口供書(ハサン湖事件)	〃	LF/E/2628
	2629	書証番号753添付地図(田中証人ノ「ソ」連兵力ヲ記入セルモノ) (識別証拠)	〃	
	2630	磯野勇三口供書(「ソ」連関係文書喪失証明)	22. 5.22 (222)	LF/E/2630
	2631	林馨口供書(同上〔張鼓峰〕)	〃	LF/E/2631
	2632	同上(同上〔ノモンハン〕)	〃	LF/E/2632
	2633	1938.7.20「リトヴィノフ」日記(重光大使トノ会談ニツキ)	〃	LF/E/2633
	2634	1938.7.26駐「ソ」米代理大使「カーク」→国務省電(「リトヴィノフ」トノ会談報告)	〃	LF/E/2634
	2635	1938.8.4「リトヴィノフ」日記(重光大使トノ会談ニツキ)	〃	LF/E/2635
	2636	1938.8.5駐「ソ」米代理大使→国務省電(「リトヴィノフ」トノ会談報告)	〃	LF/E/2636
	2637	松平康東口供書(在「ソ」連大使館ノ文書焼却)	22. 5.23 (223)	
	2638	1938.8.7「リトヴィノフ」日記(重光大使トノ会談)	〃	LF/E/2638
2639	1938.8.11駐「ソ」米代理大使→国務省(張鼓峰停戦協定ニ関シ)	〃	LF/E/2639	
2640	1938.8.12 同上(張鼓峰紛争中止ニ関シ)	〃	LF/E/2640	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号	
ソ	2641	1938.8 駐「ソ」米代理大使→国務省(張鼓峰ニ於ケル兩軍々隊ノ撤退ニ関シ)	22. 5.23 (223)	LF/E/2641	
	2642	三浦和一口供書(張鼓峰事件ノ見聞事項)	〃	LF/E/2642	
	〃	同上添付書証A(同上東京へノ報告電報下書)	〃	LF/E/2642-2	
	〃	同上B 張鼓峰地図(斎藤参謀ガ兩軍兵力ヲ記入セルモノ)	〃	LF/E/2642-3	
	2643	1938.8.21「リトヴィノフ」日記(重光大使トノ会谈)	〃	LF/E/2643	
	2644	国境委員会ニ対スル資料	〃	LF/E/2644	
	2645	同上	〃	LF/E/2645	
	2646	1938.8.31「リトヴィノフ」日記(重光大使トノ会谈)	〃	LF/E/2646	
	2647	機密昭和13年執務報告(外務省欧亞局) (識別証拠)	〃		
	〃 A	書証番号2647号抜萃 張鼓峰事件	〃	LF/E/2647A	
関	2648	1942.1.30 兵学研究会発行「戦術作業ノ参考」 (識別証拠)	22. 5.26 (224)		
	2649	1942.5.30 附中「ソ」条約(北平条約)抜萃 ソ聯ガ外蒙ガ中国領土ノ一部ナルコトヲ認メル条文	〃	LF/E/2649	
	2650	天野光二大佐口述書(満蒙国境ハ「ハルハ」河ナリ)	〃	LF/E/2650	
	2651	Chang-mu 著「蒙古遊牧記」(添附地図共) (識別証拠)	〃		
	2652	著者不明中国人「ホロンバイル」(1928年版) (識別証拠)	〃		
	2653	参謀本部編纂「東亜大陸図」(1927年出版, 1937年改定) (同上)	〃		
	係				

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
ソ	2654	柏原隆久, 浜田淳一著「蒙古地誌」(1919年版) (識別証拠)	22. 5.26 (224)	
	2655	服部卓四郎大佐口述書(ノモンハン事件)	〃	LF/E/2655
	2656	荻州立兵中將口述書(同上)	〃	LF/E/2656
	2657	1935年「ソ」聯参謀本部作成地図(満蒙国境附近ノモノ)	22. 5.27 (225)	
	〃 A	同上抜萃「ノモンハン」附近要図(荻州証人ノ記号ヲ記入セルモノ)	〃	
	2658	1940.2.1 有田外相ノ議會演説(国境劃定ニ関スル部分)	〃	
	2659	太田三郎口述書(ノモンハン事件ニ関スル外交交渉)	〃	LF/E/2659
	2660	東郷「モロトフ」協定附属地図ニ基キ「ソ」聯外務部ニテ作成セル「ノモンハン」附近地図(1/20万尺度)	〃	LF/E/2660
	2661	外務省欧亜局第一課発行「1939年外務省年次報告」 (識別証拠)	22. 5.28 (226)	
	〃 A	同上抜萃 ノモンハン停戦協定ニ関スル共同声明	〃	LF/E/2661A
関	2662	1940.7.22 東郷大使→有田外相手紙(ソ聯外務部ヨリ送ラレタル地図(㊦2660号)ノ送附ノ件)	〃	LF/E/2662
	2663	1941.10.15 東郷「モロトフ」協定ニ從フ満蒙国境設定ニ関スル議定書	〃	LF/E/2663
	2664	秋草俊少將ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(戦犯予審中)	〃	LF/E/2664
	〃 A	三宅光治中將ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(通常俘虜トシテ抑留中)	〃	LF/E/2664A
	〃 B	三宅光治中將死亡証明書(1946.10.21 結核ニヨリ死亡)	〃	LF/E/2664B
	〃 C	柳田元三中將ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(戦犯予審中)	〃	LF/E/2664C
	係			

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
ソ	2664D	武部六蔵中将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(戦犯予審中)	22. 5.28 (226)	LF/E/2664D
	" E	喜多勢一大将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(同上)	"	LF/E/2664E
	" F	村上啓作中将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(同上)	"	LF/E/2664F
	" G	後宮淳大将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(同上)	"	LF/E/2664G
	" H	松浦九州男少佐ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(通常俘虏トシテ抑留中)	"	LF/E/2664H
	" I	大坪一馬少将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(同上)	"	LF/E/2664I
	" J	野原駒吉ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(本人ノ自由意志ニヨリ独ニ帰還, 住所不明)	"	LF/E/2664J
	" K	草場巽中将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(通常俘虏トシテ抑留中)	"	LF/E/2664K
	" L	富永恭次中将ノ身上ニ関スル「ソ」聯当局ノ証明書(同上)	"	LF/E/2664L
	関	2665	1947.2.6 SCAP→対日理事会「ソ」聯代表(弁護側要求文書提出ノ要請 ソ聯発行文書関係)	"
2666		同上(同上 関東軍々事関係文書)	"	LF/E/2666
2667		1947.2.20「ソ」聯代表→SCAP(同上ノ回答存在セズ)	"	
2668		1936.1.16「イズベスタヤ」紙(識別証拠)	"	
" A		同上抜萃 極東ニ於ケル赤軍兵力ノ強化	"	LF/E/2668A
係	2669	関東軍関係文書不存在ニ関スル一復文書課長ノ証明書	"	
	2670	笠原幸雄中将口述書(関東軍ノ対ソ作戰計画其ノ他)	"	LF/E/2670

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
ソ	2671	1931.3 笠原中佐記述「対「ソ」聯邦帝国々防ニ関スル概観」	22. 5.28 (226)	LF/E/2671
	2672	矢野政雄中將口述書(1945年第三方面軍ノ対「ソ」作戰計画)	22. 5.29 (227)	LF/E/2672
	2673	村松知勝少將口述書(關東軍ノ対ソ作戰計画)	〃	LF/E/2673
	2674	二見秋三郎口述書(羅津要塞ノ防備状況)	〃	LF/E/2674
	2675	田辺盛武中將口述書(1941,42年中央統帥部ノ対「ソ」政策)	〃	LF/E/2675
	2676	田中新一中將口述書(1941年対ソ作戰計画關特演ノ実情)	〃	LF/E/2676
	2677	文書不存在ニ関スル一復文書課長ノ証明書(1941.12.8 総長→關東軍司令官)	22. 6. 2 (228)	LF/E/2677
	2678	花輪義散口述書(梅津關東軍司令官ノ対「ソ」紛争防止ノ努力)	〃	LF/E/2678
	2679	飯村穰中將口述書(同上)	〃	LF/E/2679
	2680	山村治雄少將口述書(同上)	〃	LF/E/2680
	2681	昭和6年以降東部「ソ」聯ニ於ケル「ソ」聯配兵概況一覽表 (識別証拠)	22. 6. 3 (229)	LF/E/2681
	2682	1931~1945年間滿鮮兵力(同上)	〃	LF/E/2682
	2683	上月良夫中將口述書(梅津司令官ノ対「ソ」紛争防止ノ努力)	〃	LF/E/2683
	2684	飯村穰中將口述書(滿洲ノ設堡, 飛行場設備, 江上艦隊ノ状況)	〃	LF/E/2684
係	2685	外務省歐亞局発行「昭和15年度外務省年次報告」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 昭和15年度ノ「ソ」側国境侵犯一覽表	〃	LF/E/2685A

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
ソ	2686	外務省欧亜局発行「昭和16年度外務省年次報告」(識別証拠)	22. 6. 3. (229)	
	〃 A	同上抜萃 昭和16年度ノ「ソ」側国境侵犯一覧表	〃	LF/E/2686A
	2687	外務省欧亜局発行「昭和17年度外務省年次報告」(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 昭和17年度ノ「ソ」側国境侵犯一覧表	〃	LF/E/2687A
	2688	鷓飼芳男口述書(「セミヨノフ」口述書ノ否定)	〃	LF/E/2688
	2689	藤田正路大佐口述書(ソ聯船舶取扱ノ問題)	〃	LF/E/2689
	2690	1940年「ソ」聯海軍発行地図(藤田証人ノ記号ヲ記セルモノ)	22. 6. 4 (230)	
	2691	文書焼失不存在ニ関スルニ復総務部長ノ証明書(船舶臨検)	〃	LF/E/2691
	2692	「ニュルンベルグ」裁判公式速記録(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 「リップントロップ」ノ証言(日本ノ日ソ中立条約厳守)	〃	LF/E/2692A
	2693	大島被告訊問調書抜萃(同上)	〃	LF/E/2693
	係	2694	西村口述書(防共秘密協定ノ廃棄)	〃
2695		佐藤尚武口述書(「ソ」聯ノ日ソ中立条約遵守ノ保証及違反)	〃	LF/E/2695
2696		1945.7.12 東郷外相→佐藤大使電(「ソ」聯ノ仲裁申入レノ訓電)	〃	LF/E/2696
2697		1945.7.13 同上(駐日「ソ」聯大使同様申入レタルコトノ通知)	〃	LF/E/2697
2698		1945.7.13 佐藤大使→東郷外相電(「ソ」聯側ニ訓令主旨申入レシコトノ報告)	〃	LF/E/2698

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
ソ	2699	1945.7.19 同上 (ソ聯側回答ノ報告)	22. 6. 4 (230)	LF/E/2699
	2700	1945.7.21 東郷外相→佐藤大使電 (近衛特使ノ使命更ニ説明方訓令)	〃	LF/E/2700
	2701	同上 (同上及日本ノ意図説明方訓令)	〃	LF/E/2701
	2702	1945.7.25 同上 (「ロゾクスキー」トノ会見報告)	〃	LF/E/2702
	2703	1945.7.25 同上 (「ロゾクスキー」ヘ申入レシタルコトノ報告)	〃	LF/E/2703
	2704	1945.7.30 同上 (「ロゾクスキー」トノ会見報告)	〃	LF/E/2704
	2705	1945.8.7 同上 (8.8「モロトフ」トノ会見ノ予告)	〃	LF/E/2705
	2706	「ジョン・R・ディーン」少將口述書 (テヘラン、モスコー、ヤルタ、ポツダム会談、ソ聯ノ中立条約侵犯等)	22. 6. 5 (231)	LF/E/2706
	2707	米國務省編纂 「日本占領政策トソノ発展」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1945.2.11「ヤルタ」協定	〃	LF/E/2707A
関	2708	高山信武大佐口述書 (1944年以降ノ関東軍ノ兵力ノ実情)	〃	LF/E/2708
	2709	1926.9 関東庁発行 「ノモンハン」附近地図	〃	
	〃 A	同上抜萃	22. 6. 6 (232)	LF/E/2709A
	2710	1914年 関東都督府発行 地図	〃	
	〃 A	同上抜萃	〃	LF/E/2710A
係	2711	1932年 東亞同文会調査編纂部作成 地図	〃	

立証 段階	証 書 番 号	証 書 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
ソ 聯 関 係	2711A	1932年東亜同文会調査編集部作成地図抜萃	22. 6. 6 (232)	LF/E/2711A
	(719B)	1937.12 関東軍参謀部製地図	"	
	(" C)	同上抜萃	"	
	(" D)	1938.1.29 東条関東軍参謀長→梅津次官電(極東ソ領及滿蒙兵要地誌資料送付ノ件)	"	
	2712	1938.8.11「オーク」駐ソ米代理大使→國務長官電(ソ聯ノ軍事予算ニ関スル件)	"	LF/E/2712
	(719E)	1937.11.15 滿鉄発行滿蒙地図(1938.1.25 東条軍参謀長→梅津陸軍次官送附ノモノ)	22. 6. 9 (233)	
	2713	1933年改訂赤軍ノ事地形部発行「ソ聯東部及隣接諸国地図」	"	LF/E/2713
	2714	1935年 同 上	"	LF/E/2714
	2715	宇垣一成大将口述書(張鼓峰事件ト重光駐ソ大使ノ努力)	"	LF/E/2715
2716 A~C	1938.8.10「リトヴィノフ」日記抜萃 重光「リトヴィノフ」会談	22. 6.10 (234)	LF/E/2716 A~C	
一 般 関 係	2717	井上孚磨口述書(八紘一字)	"	LF/E/2717
2718	同 上(皇 道)	"	LF/E/2718	
2719	1941.1.26 橋田 國務相ノ議會演説(八紘一字)	"	LF/E/2719	
2720	1941.2.18 近衛首相ノ衆議院議員ノ質問ニ対スル回答書(八紘一字)	"		
支 関 那 係	2721	影佐禎昭中将囑託訊問調書(各種電報其ノ他識別文書ヲ含ミ一括シテ受理)	"	LF/E/2721
太 関 平 洋 係	2722	1939.6.21「ヴァイツェッカー」外務次官→「オット」大使電	22. 5.12 (236)	LF/E/2722

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 (三 国 同 盟 関 係)	2723	1939.7.20「ヴェールマン」覚書(宇佐美参事官 トノ会談 ドイツ・ソ聯不可侵条約ニ関スル質問ニ対 シ否定ノ答ヲ与フ)	22. 6.12 (286)	LF/E/2723
	2724	1939.7.22「ヴァイツェッカー」→モスコー駐在 独大使電(独ソ不可侵条約ヲ更ニ進行セヨ, 但シ 無理スルナ, 日本ニシラレルナ)	〃	LF/E/2724
	2725	1939.8.23附独「ソ」不可侵条約全文	〃	LF/E/2725
	2726	1939.8.23「マッケンゼン」駐伊独大使→独外務 省電(「チアノ」伯トノ会談報告, 東京ハ独ソ不 可侵条約ニ憤激シアリ)	〃	LF/E/2726
	2727	「平和ト戦争」抜萃 1939.8.26「ハル」覚書 (堀内「ハル」会談, 堀内ハ日本ハ独トノ交渉ヲ打 切り対米新外交方針ヲトルベシト語ル)	〃	LF/E/2727
	2728	1939.8.28平沼首相ノ内閣総辞職ニ当リテノ談	〃	LF/E/2728
	2729	1939.9.4阿部内閣ノ欧州情勢ニ対スル政府声明 (欧州戦争ニ介入セズ支那事変処理ニ邁進ス)	〃	
	2730	1939.12.18「グルー」→「ハル」電(「グルー」 野村会談ニオケル日本ノ暫定通商条約締結ノ提案)	〃	LF/E/2730
	2731	1937.12.20「ハル」→「グルー」電(上記提案 ニ対スル回答, 直ニ交渉開始ニ応ズルコト出来ズ)	〃	LF/E/2731
	2732	1939.12.22野村「グルー」会談録(「グルー」 ヨリ上記回答ヲ野村外相ニ提示)	〃	LF/E/2732
	2733	1940.5.27「マッケンゼン」大使→独外務省電(佐 藤使節ノベルリン訪問ハ偶然ニシテ特別ノ使命ナ シ)	〃	LF/E/2733
	2734	1940.9.27三国同盟条約締結ニ当リテノ近衛首相 ノ告諭	〃	LF/E/2734
	2735	牛場友彦口述書(近衛公手記ノ確認)	22. 6.13 (237)	LF/E/2735
〃 A	近衛公手記「三国同盟ニツイテ」	〃	LF/E/2735A	
2736	グルー著「滞日十年間」抜萃 1939.10.19日米 協会ニ於ケル「グルー」ノ演説(日本ノ対支政策 ニ対スル米国ノ輿論)	〃	LF/E/2736	
2737	1939.10.20「オット」→独外務省電(「グルー」 演説ノ日本国内ニオケル反響ニ関スル見解)	〃	LF/E/2737	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 (三 国 同 盟 関 係)	2738	1939.10.23「グルー」→「ハル」電(須磨情報部長ノ外人記者トノ会談内容ノ報告)	22. 6.13 (237)	LF/E/2738
	2739	1940.10.5「グルー」→「ハル」電(松岡ヨリ手交サレシ「三国同盟ニツイテノ米ヘノ声明」内容ノ報告)	〃	LF/E/2739
	2740	1940.10.7 地方長官会議ニ於ケル松岡外相ノ訓示(三国同盟ノ目的及当時ノ国際情勢)	〃	LF/E/2740
	2741	1941.1.21 近衛首相ノ議會演説(三国同盟ノ目的)	〃	LF/E/2741
	2742	1941.9.27 三国同盟締結一週年記念午餐会ニ於ケル豊田外相演説(三国同盟ノ世界平和, 戦争拡大防止ヘノ貢献ノ強調)	〃	LF/E/2742
	2743	1941.11.17 特別議會ニ於ケル東郷外相ノ演説(三国同盟ノ世界平和, 戦争拡大防止ヘノ貢献ノ強調)	〃	LF/E/2743
	2744	「ハインリッヒ・スターマー」口述書(1938年以後ノ日独交渉関係)	〃	LF/E/2744
	〃 A	同 上	22. 6.16 (238)	LF/E/2744A
	2745	1944.9 重光「スターマー」会談ニ於ケル「スターマー」ノ手交セル独政府覚書(独「ソ」ノ和平ニ関スル日本ノ提案ニ対スル回答)	〃	LF/E/2745
	2746	1939.8.28「スターマー」→「グァイツゼッカー」覚書(大島ヨリ得タル阿部首相ニ関スル情報ノ報告)	22. 6.17 (239)	LF/E/2746
	2747	永井八津次大佐口述書(松岡訪独時随員トシテ聞知セル事項)	22. 6.18 (240)	LF/E/2747
	2748	1941.4.23「リンテレン」→独外務省電(松岡「ヒトラー」会談記録ヲ松岡ニ与ヘル約束ハナサズ, 大島ニ伝ヘ「オット」ニ電報ス)	〃	
	2749	1941.4.18「オット」→独外務省電(松岡「ヒトラー」会談記録ヲ松岡ヨリ要求シタリ, 如何ニ返事スルヤ)	〃	
	2750	ニュルンベルグ裁判公式記録抜萃 米国政府編「ナチスノ陰謀ト侵略」(識別証拠)	〃	
〃 A	同上抜萃 「レーダー」ニ関スル書証提出ニ当リテノ英検事ノ論評(松岡「ヒトラー」会談ニ於ケル「ヒトラー」ノ言ハ虚言ナリ)	〃	LF/E/2750A	
2751	「アルフレッド・F・クレッチメル」少将口述書(日独軍事協力ノ無カリシ実証)	〃		

立証 段階	証 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
太 平 洋 関 係 一 三 国 同 盟 関 係		2752	ニューヨーク・タイムス東京特派員「トリシヤス」著「東京レコード」(識別証拠)	22. 6.19 (241)	
		〃 A	同上抜萃 三国同盟ニ関スル松岡外相ノ見解	〃	LF/E/2752A
		2753	1941.7.23「ヴェールマン」覚書(仏印進駐ハ独ノ仏ニ対スル圧迫ニヨルモノニアラズ)	〃	LF/E/2753
		2754	1941.7.26「豊田「グラー」会談録(豊田日ク仏印進駐ハ独ノ圧迫ニヨルニアラズ、日本独自ノ見解ニヨリ行ハル)	〃	LF/E/2754
		2755	1941.7.27 同 上	〃	LF/E/2755
		2756	「グラー」著「滞日十年間」抜萃 1941.8.18「グラー」日記抜萃(豊田「グラー」会談記事、豊田日ク仏印進駐ハ支那事変解決ノため、独ノ圧迫ニヨルニアラズ)	〃	LF/E/2756
		2757	1941.4.11「スタインハルト」駐ソ米大使→「ヘル」長官電(松岡トノ会見報告松岡ハ日米交渉ヲ希望シアリ独ニテハ言質ヲ与ヘテオラズ)	〃	LF/E/2757
		2758	1941.5.11 独政府→日本政府覚書(対米回答ヲ発スル前ニ独ニ相談サレタキ旨ノ申入レ)	〃	LF/E/2758
		2759	1941.5.17 独外務省→「オット」大使電(独ニ相談ナク対米回答ヲ発セル事ニ対スル抗議ヲナスベキ旨ノ訓令)	〃	LF/E/2759
		2760	1941.8.30「オット」→独外相電(豊田外相ニ近衛「メッセージ」ヲ要求セルモクレス)	〃	LF/E/2760
		2761	真珠湾事件ニ関スル米国両院調査委員会報告書(識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃 1941.10.1 ベルリン(日本大使)→東京(外相)電(傍受電)(独首脳部ノ対日感情悪化ノ報告)	〃	LF/E/2761A
		2762	1946.10.15「リップントロップ」口述書(日独協力ノ欠如)	〃	LF/E/2762
		2763	1946.3.28「ニュルンベルグ」裁判記録(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 「パウル・シュミット」直接訊問ノ一部(「リップントロップ」ガ真珠湾攻撃ノ報ヲキキ驚ク)	〃	LF/E/2763A	
	2764	1941.12.11 独外相ヨリ在独米代理大使宛対米宣戦通牒	〃	LF/E/2764	

立段 証階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関係 (三国同盟関係)	2765	「マーシャル」元帥著「欧州及太平洋戦争ノ勝利」 (識別証拠)	22. 6. 19 (241)	
	〃 A	同上抜萃 日独間ニハ密接ナル戦略的提携ナシ	〃	LF/E/2765A
一関 般係 (三国同盟)	〃 B	「マーシャル」元帥口供書(日独間ニ軍事的提携ナシ)	23. 4. 2 (407)	
太平洋 関係 (一)	2766	昭和16年極東年鑑 (識別証拠)	22. 8. 4 (242)	
	〃 A	同上抜萃 昭和13~15年ノ日本輸出入貿易グラフ	〃	
	〃 B	同上抜萃 昭和13年ニ於ケル日本ノ対主要国間ノ貿易上ノ地位ヲ示ス表	〃	
	2767	岡田菊三郎少将口述書(日本ニ於ケル各種資源ト戦争準備)	〃	LF/E/2767
	2768	1945.10.31米国務省作成「日本ノ軍需産業第四部造船)	22. 8. 5 (243)	LF/E/2768
	2769	書証番号2766号抜萃 1931~1938年ノ日本ノ財政々策(公債ヲ示ス部分)	〃	LF/E/2769
	2770	同上 1868~1940年ノ日本ノ国債ヲ示ス表	〃	LF/E/2770
	2771	第五十七,五十八議会速記録 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1930.1.21浜口首相ノ演説(全解禁)	〃	LF/E/2771A
	〃 B	同上抜萃 1930.4.27俵商相ノ演説(産業政策)	〃	LF/E/2771B
	〃 C	同上抜萃 1930.5.9前田逋相ノ演説(造船同業組合法案)	〃	LF/E/2771C
	2772	第五十九議会速記録 (識別証拠)	〃	
〃 A	同上抜萃 1931.2.28俵商相ノ演説(重要産業統制法案)	〃	LF/E/2772A	

立証 段階	証 書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
太 平 洋 関 係 （ 經 済 関 係 ）	2773	第六十二議会速記録 (識別証拠)	22. 8. 5 (243)	
	" A	同上抜萃 1932.6.4 高橋蔵相ノ演説(資本逃避防止法案)	"	LF/E/2773A
	2774	第六十四議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1933.1.2.16 高橋蔵相ノ演説(外国為替管理法案)	"	
	" B	同上抜萃 1933.2.28 中島商相ノ演説(日本製鉄会社設立法案)	"	LF/E/2774B
	2775	足立泰雄口述書(日本ニ於ケル鉄鋼行政)	"	LF/E/2775
	2776	1934.1.23 高橋蔵相ノ演説(世界經濟的輿論ノ一般の趨勢)	"	LF/E/2776
	2777	第六十五議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1934.3.3 松本商相ノ演説(石油統制法案)	"	LF/E/2777A
	" B	同上抜萃 1934.3.10 高橋蔵相ノ演説(貿易調整及通商保護法案)	"	LF/E/2777B
	2778	第六十九議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1935.5.11 小川商相ノ演説(自動車製造工業法案)	"	LF/E/2778A
	2779	1937.1.22 桜内幸雄氏ノ質問演説(産業ノ助長発達ヲ目的トスル諸政策)	"	LF/E/2779
	2780	第七十議会速記録 (識別証拠)	"	
" A	同上抜萃 1937.1.21 馬場蔵相ノ演説(海外為替条例)	"	LF/E/2780A	
" B	同上抜萃 1937.2.15 結城蔵相ノ演説(對外貿易ノ発達)	"	LF/E/2780B	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 （ 経 済 関 係 ）	2780C	同上抜萃 1937.2.20 結城蔵相ノ演説(輸出統制 税法案)	22. 8. 5 (243)	LF/E/2780C
	2781	第七十一議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1937.7.31 吉野商相ノ演説(人造石油 製造法案帝国石油会社設立法案)	"	LF/E/2781A
	2782	岡崎文勲口述書(日本ニ於ケル重油ノ状況)	"	LF/E/2782
	2783	1937.8.2 小暮政府委員ノ演説(対外貿易調整法 案)	22. 8. 6 (244)	LF/E/2783
	2784	1937.8.5 大田政府委員ノ演説(産金法其ノ他)	"	LF/E/2784
	2785	1937.9.4 吉野商相ノ演説(輸出入品等ニ関スル 臨時措置ニ関スル法律案)	"	LF/E/2785
	2786	1937.9.5 永井通信相ノ演説(臨時船舶管理法案)	"	LF/E/2786
	2787	1937.9.10 附米穀緊急貿易法	"	LF/E/2787
	2788	1937.9.15 臨時資金調整法	"	LF/E/2788
	2789	荷見安口述書(日本ニ於ケル米ノ事情)	"	LF/E/2789
	2790	1937.9.10 附臨時船舶管理法	"	LF/E/2790
	2791	1937.9.10 附輸出入品等ニ関スル臨時措置ニ関ス ル法律	"	LF/E/2791
	2792	第七十三議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1938.1.25 永井通信相ノ演説(電力国家 監理法其ノ他)	"	LF/E/2792A
" B	同上抜萃 1938.2.22 木暮政府委員ノ演説(重要 鉱物増産法)	"	LF/E/2792B	

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷へ提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 平洋 関係 （ 経済 関係 ）	2792C	第七十三議会速記録抜萃 1938.2.24 斎藤隆夫ノ演説 (国家総動員法案)	22. 8. 6 (244)	LF/E/2792C
	2793	1938.3.10 木暮政府委員ノ演説 (工作機械製造事業法案)	"	LF/E/2793
	2794	1938.3.17 近衛首相ノ演説 (国家総動員法案)	"	LF/E/2794
	2795	第七十四議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1939.3.17 八田商相ノ演説 (軽金属製造事業法案)	"	LF/E/2795A
	2796	第七十五議会速記録 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1940.3.11 藤原商相ノ演説 (石炭補給統制法案)	"	LF/E/2796A
	" B	同上抜萃 1940.3.15 加藤政府委員ノ演説 (有機合成事業法案)	"	LF/E/2796B
	2797	米國務省臨時情報部作成 「日本ノ軍需産業」抜萃 第一次大戦以後ノ軍需産業発展ノ歴史.	"	LF/E/2797
	2798	1932年「オッタワ」ニ於ケル英帝 国経済会議 (識別証拠)	"	
	2799	1940.1.6 堀内駐米大使→「ハル」長官 (航空機関係資材ノ対日禁輸ニ対スル抗議).	22. 8. 7 (245)	LF/E/2799
	2800	米國務省編纂 「平和ト戦争」 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 1940.6 「ハル」長官→「グルー」大使 (米 国ノ対日禁輸ト経済圧迫)	"	LF/E/2800A
	2801	1940.7.2 「ルーズベルト」大統領布告 (輸出統制法)	"	LF/E/2801
	" A	同上 (輸出統制官ノ任命)	"	LF/E/2801A
" B	1940.7.26 同上 (禁輸品目ノ追加、石油屑鉄)	"	LF/E/2801B	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋関係(経済関係)	2801C	1940.7.26「ルーズベルト」大統領布告(禁輸品目ノ用語ノ定義)	22. 8. 7 (245)	LF/E/2801C
	2802	植村甲子郎口述書(企画院設立ノ経緯, 物動生拡計画 総動員法制定ノ経緯)	''	LF/E/2802
	2803	1940.9.12「ルーズベルト」大統領布告(禁輸品目ノ追加)	''	LF/E/2803
	2804	1940.9.25「ホワイトハウス」新聞発表(屑鉄輸出禁止)	''	LF/E/2804
	2805	1940.9.30「ルーズベルト」大統領布告(商品並材料統制規則)	''	LF/E/2805
	2806	1940.10.15「ホワイトハウス」新聞発表(禁輸ノ強化)	''	LF/E/2806
	2807	1940.12.10「ルーズベルト」大統領布告(禁輸品目ノ定義)	''	LF/E/2807
	2808	1940.12.20 同 上 (禁輸品目ノ追加)	''	LF/E/2808
	2809	1941.1.10 同 上	''	LF/E/2809
	2810	1941.2.4 同 上	''	LF/E/2810
	2811	1941.2.4 同 上 (国防強化ノ為ノ禁輸命令)	''	LF/E/2811
	2812	1941.2.25 同 上 (禁輸品目ノ追加)	''	LF/E/2812
	2813	同 上	''	LF/E/2813
	2814	1941.3.4 同 上	''	LF/E/2814
	2815	同 上	22. 8. 8 (246)	LF/E/2815
	2816	1941.3.27 同 上	''	LF/E/2816

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関係 （ 経 済 関 係 ）	2817	1941.3.27 ルーズベルト大統領布告 (禁輸品目ノ追加)	22. 8. 8 (246)	LF/E/2817
	2818	1941.4.14 同上	"	LF/E/2818
	2819	1941.5.28 野村大使「ハル」長官会談覚書 (日本ノ経済事情, 正常貿易復帰ノ希望)	"	LF/E/2819
	2820	1941.5.28 国務省新聞発表 (輸出統制ヲ比島ニマデ延長)	"	LF/E/2820
	2821	石沢豊口述書朗読 (1940, 41年日蘭会商)	"	LF/E/2821
	2822	「対蘭印要求草案」=外務省ノ鉛筆註記ヲ附セルモノ (識別証拠)	"	LF/E/2822
	2823	1941.7.18 「ウエルズ」国務長官代理覚書 (パナマ運通航日本船舶抑留=対スル日本ノ抗議ニ対スル回答)	"	LF/E/2823
	2824	1941.7.21 大統領日本大使会談覚書 「平和ト戦争」拔萃 対日石油禁輸ト日本ノ対蘭印行動=対スル大統領ノ言明	"	
	2825	1941.7.21 戦争計画局長「ターナー」少将→「スターク」作戦部長 (野村「ターナー」会談ノ報告, 日本ノ経済苦境, 対華援助ノ非難)	"	LF/E/2825
	2826	1941.7.25 「マイルズ」G-2 参謀次長代理→参謀総長 (日本ノ資本統制=対スル批判)	"	LF/E/2826
	2827	1941.7.25 「ホワイトハウス」ラヂオ発表 (大統領ノ演説対日石油禁輸ト日本ノ対蘭印行動)	"	LF/E/2827
	2828	1941.7.25 「スターク」作戦部長→「キンメル」提督其他 (資産凍結令=関聯スル対日警戒措置ノ訓令)	"	LF/E/2828
2829	1941.7.25 「ホワイトハウス」新聞発表 (米国ノ在米日華資産凍結令)	"	LF/E/2829	
2830	1941.7.25 豊田外相→「グルー」大使 (仏印共同防衛=関スル事情説明)	"	LF/E/2830	
2831	「平和ト戦争」拔萃 資産凍結令ノ影響	"	LF/E/2831	
2832	1941.7.26 「ルーズベルト」大統領行政命令 (日華資産凍結令)	"	LF/E/2832	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 経 済 関 係	2833	真珠湾事件両院合同調査委員会報告書 (識別証拠)	22. 8. 8 (246)	
	" A	同上抜萃 「スターク」大将ノ証言(日本ニ石油ヲ与ヘザレバ日本ハ何処カノウッテ出ルベシ)	"	LF/E/2833A
	2834	椎名悦三郎口述書(日本ニ於ケル生ゴムノ需給状況)	"	LF/E/2834
	2835	「グルー」日記抜萃 1941.8.29「グルー」寺崎会談(近衛「ルーズベルト」会談ノ発表ニ関聯シ日本側ノ三提案)	"	LF/E/2835
	2836	同上 1941.9.9近衛「グルー」会談(近衛ノ「ルーズベルト」大統領トノ会見ノ真摯ナル希望)	"	LF/E/2836
	2837	同上 1941.9.29 国務省ニ於テ準備セル「グルー」報告ノ抄訳(近衛「ルーズベルト」会談ノ申言ニ対スル国務省ノ批判)	"	
	2838	1941.11.10「グルー」大使覚書(日本外相トノ会談, 外相日ク米ガ日本ノ経済情勢ヲ更ニ認識スルコトヲ希望ス)	22. 8. 11 (247)	LF/E/2838
	2839	「戦争ト平和」抜萃 1941.10.9 大統領命令(中立法ノ廃棄)	"	LF/E/2839
	2840	真珠湾事件調査委員会ニ於ケル「ハル」ノ証言(日米通商航海条約ノ廃棄, 禁輸, 中国援助, 軍備ノ増強)	"	
	2841	石橋湛山口述書(日本ノ財政ト軍事費)	"	LF/E/2841
	2842	「平和ト戦争」抜萃 1933~34年ニ於ケル米ノ軍備拡張	"	LF/E/2842
	2843	同上 1937~38年米ノ再軍備	"	LF/E/2843
	2844	真珠湾事件両院合同調査委員会報告書 第9巻 (識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 「インガーソル」大将ノ証言(1937~38年ノロンドンニ於ケル米英海軍ノ対日戦ニ関スル会議)	"	LF/E/2844A
2845	「平和ト戦争」抜萃 1939年ノ米ノ軍備 アラスカ, ハワイ, パナマ	"	LF/E/2845	
2846	同上 1940.5.16 米ノ国防法案ノ成立	"	LF/E/2846	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 （ 経 済 関 係 ）	2847	「平和と戦争」抜萃 1941.1 大統領ノ要求ニヨリ国防費ノ支出	22. 8.11 (247)	LF/E/2847
	2848	同上 1941.1 武器貸与法ノ成立	〃	LF/E/2848
	2849	真珠湾報告書 第11巻 (識別証拠)	22. 8.12 (248)	
	〃 A	同上抜萃 「スターク」大将証言(1941.1.3華府ニ於ケル米英軍事会談)	〃	LF/E/2849A
	2850	真珠湾報告書 第20巻 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1941.5.9「ローイン・カリー」→「ルーズベルト」大統領, 5.15「ルーズベルト」大統領→「カリー」(中国向航空計画)	〃	
	2851	真珠湾報告書 第50巻 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1941.4「シンガポール」ニ於ケルABD軍事会談報告書	〃	LF/E/2851A
	2852	「平和と戦争」抜萃 1941.5.27「ルーズベルト」大統領演説(国家非常時宣言)	〃	LF/E/2852
	2853	真珠湾報告書 第4巻 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 「ターナー」大将証言(1941.12.7以前ノABD会談)	〃	LF/E/2853A
	2854	「平和と戦争」抜萃 1941.8「ルーズベルト」「チャーチル」洋上会談	〃	LF/E/2854
	2855	1941.8.14米海軍作戦本部→各艦隊(日本船隻ノ減少ハABDノ直接ノ干渉ノ結果ナリ)	〃	LF/E/2855
	2856	1941.9.2「マイルズ」代将→参謀総長(磯田武官ト「ブレットン」極東課長トノ会見手記ノ報告)	〃	LF/E/2856
2857	1941.11.23艦隊長官宛電(桑港出発ノ米大部隊ノ行動ニ関スルモノ)	〃	LF/E/2857	
2858	1941.11.26「ショート」大将宛命令(南洋委任統治領偵察ニ関スル命令)	〃	LF/E/2858	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷へ提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 外 交 関 係	2859	1941.1.1.27 参謀総長, 作戦部長→大統領(兵力ノ比島急派ノ報告)	22. 8.12 (248)	LF/E/2859
	2860	1941.1.1.27 「マーシャル」→西部防衛管区司令官(日本トノ危機切迫, 開戦ノ場合ハ日本ヨリ先ニ手ヲ出スコトヲ望ム)	22. 8.13 (249)	LF/E/2860
	2861	1941.1.1.27 「マーシャル」→ハワイ司令官(日本トノ危機切迫ノ警告)	〃	LF/E/2861
	2862	1941.1.1.27 「マーシャル」→「マッカーサー」(同上)	〃	LF/E/2862
	2863	1941.1.1.27 「ジロー」代将→「マーシャル」(陸軍長官日米交渉再開ノ見込ナシト云フ)	〃	LF/E/2863
	2864	1941.1.1.28 「スターク」→現地軍司令官(日本トノ危機警告)	〃	LF/E/2864
	2865	近衛手記抜萃 統帥権ノ政府ヨリノ独立歴代内閣ノ苦悩	〃	LF/E/2865
	2866	同上 日米交渉ノ初期ノ状況	〃	LF/E/2866
	2867	1941.3.8 野村「ハル」会談覚書(国務長官, 日米会談ノ同意アルコトヲホノメカス)	〃	LF/E/2867
	2868	1941.3.14 野村「ルーズベルト」会談覚書(日本ガ日米交渉ノイニシアチブヲトルヤウホノメカス)	〃	LF/E/2868
	2869	1941.4.14 野村「ハル」会談記録(日米予備交渉ノ開始ヲ促ス)	〃	LF/E/2869
	2870	1941.4.17 野村→近衛(日米了解案ノ報告)	〃	LF/E/2870
	2871	1941.4.18 野村→近衛(日米了解案ノ逐条説明)	〃	LF/E/2871
	2872	1941.5.8 野村→松岡(情勢報告, 米ノ反日感情)	〃	LF/E/2872
2873	1941.5.16 野村「ハル」会談覚書(5.12日本提案ニ関スル意見交換)	〃	LF/E/2873	
2874	同上 「ハル」→野村口頭申入(5.12日本提案ニ対スル米ノ見解)	〃	LF/E/2874	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 外 交 関 係	2875	1941.5.20 野村「ヘル」会談覚書(日本ノ中国駐兵理由ヲ米了解ス)	22. 8.13 (249)	LF/E/2875
	2876	「平和ト戦争」抜萃 1941.5.27 「ルーズベルト」ラヂオ演説	〃	LF/E/2876
	2877	近衛手記抜萃、戦争準備進ムニツレ日米交渉反対気運ノ抬頭	〃	LF/E/2877
	2878	1941.7.2 「バレンタイン」以下ト岩畔、井川会见録(日本ノ平和的政策ノ明示希望)	〃	LF/E/2878
	2879	1941.7.5 野村「バレンタイン」「ハミルトン」会談(ABC D包囲陣ニヨリ日本ノ脅威、日本ノ南進ニ関スル情報)	〃	LF/E/2879
	2880	1941.7.2 「バレンタイン」以下ト岩畔、井川会談(モルガン会社米官憲ヨリ凍結令ノ計画アルヲ聞ク)	〃	LF/E/2880
	2881	1941.6.17 「バレンタイン」「ハミルトン」岩畔、井川会談録(三国同盟ト日米交渉トノ関係)	〃	LF/E/2881
	2882	1941.7.24 野村→豊田電(野村「ルーズベルト」会談、「ルーズベルト」大統領仏印中立化ヲ提案ス)	22. 8.14 (250)	LF/E/2882
	2883	1941.7.26 豊田→「グラー」覚書(仏印進駐ノ真意)	〃	LF/E/2883
	2884	1941.8.5 豊田→野村電(大統領ノ提案ニ対スル我方提案提出ノ訓令)	〃	LF/E/2884
	2885	同上(我方ノ提案)	〃	LF/E/2885
	2886	1941.8.6 同上(野村「ヘル」会談ノ報告我方ノ提案ニ関スル会談)	〃	LF/E/2886
	2887	1941.8.7 豊田→野村電(近衛「ルーズベルト」会談申入ノ訓令)	〃	LF/E/2887
	2888	1941.8.18 野村→豊田電(野村「ルーズベルト」会談ノ報告)	〃	LF/E/2888
	2889	1941.8.17 「ルーズベルト」→野村覚書(近衛「ルーズベルト」会談ニ関スル回答)	〃	LF/E/2889
2890	同上(現在以上ノ武力進出ニ対スル警告)	〃	LF/E/2890	

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日（公判日次）	請求記号
太平洋 関係 （ 外 交 関 係 ）	2891	1941.8.18 豊田「グルー」会談覚書（日米危局打開ノタメ両国ノ努力）	22. 8.14 (250)	LF/E/2891
	2892	1941.3.18 「グルー」→国務省電（豊田ヨリノ提案ニ対スル「グルー」ノ見解）	〃	LF/E/2892
	2893	1941.8.29 野村→豊田電（野村「ハル」会談，近衛「ルーズベルト」会談ノ条件）	〃	LF/E/2893
	2894	1941.9.3 野村→豊田電（野村「ルーズベルト」会談）	〃	LF/E/2894
	2895	1941.9.4 豊田→野村電（我方提案提出ノ訓令）	〃	LF/E/2895
	2896	1941.9.5 「グルー」→国務省電（豊田トノ会談報告）	〃	LF/E/2896
	2897	1941.9.8 野村→豊田電（情勢報告ノ件，米ノ対日輿論ノ悪化）	〃	LF/E/2897
	2898	1941.9.10 野村「ハル」会談覚書（9.6ノ日本提案ニ関スル会談）	〃	LF/E/2898
	2899	1941.9.13 豊田→「グルー」覚書（米側質問ニ対スル日本側回答）	〃	LF/E/2899
	2900	1941.9.18 「ドウマン」参事官覚書（牛島「ドウマン」会談三国同盟ニ関スル解釈）	〃	LF/E/2900
	2901	1941.9.22 豊田→野村電（豊田「グルー」会談ノ通知）	〃	LF/E/2901
	2902	1941.9.23 同 上（中国駐兵理由ヲ米側ニ説明ノ件）	〃	LF/E/2902
	2903	近衛手記抜萃 9.25日米案作成ノ経緯	〃	LF/E/2903
	2904	1941.9.27 豊田→野村電（「グルー」ニ申入シ件ノ通知）	〃	LF/E/2904
2905	同 上（「グルー」ニ申入シ内容）	〃	LF/E/2905	
2906	1941.10.3 野村→豊田電（情勢報告ノ件，残ル問題ハ駐兵ノミナリ）	〃	LF/E/2906	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 外 交 関 係	2907	1941.10.3 豊田→野村電 (日米交渉ニ関スル英大使トノ会見ノ通知)	22. 8.14 (250)	LF/E/2907
	2908	1941.9.30「クレギー」→「イーデン」電 (傍受電) (豊田トノ会談ノ報告, 日米交渉ノ急速妥結ヲ希望)	〃	LF/E/2908
	2909	1941.10.7「ドウマン」参事官覚書 (牛場トノ会談, 日本人ノ対米感情)	〃	LF/E/2909
	2910	1941.10.8 寺崎「グルー」会談覚書 (10.2ノ米提案ニ関スル会談)	〃	LF/E/2910
	2911	1941.10.13 若杉「ウエルズ」会談覚書 (若杉, 日本ノ中国撤兵ヲ希望ス)	〃	LF/E/2911
	2912	1941.10.17「ドウマン」参事官覚書 (牛場トノ会談, 第三次近衛内閣瓦解ノ原因ハ10.2ノ米提案ニアリ)	〃	LF/E/2912
	2913	近衛手記抜萃 四相会議首相一任問題	〃	LF/E/2913
	2914	同 上 近衛内閣総辞職ノ理由	〃	LF/E/2914
	2915	山本熊一口述書 (1941年後半ニ於ケル日米外交々渉)	22. 8.15 (251)	LF/E/2915
	2916	1941.10.13 附日米交渉ニ関スル外務大臣所信	〃	LF/E/2916
	2917	1941.10.21 東郷→野村電 (交渉継続指示ノ件)	〃	LF/E/2917
	2918	1941.11.10「グルー」覚書 (東郷「グルー」会談)	〃	LF/E/2918
2919	1941.10.17 豊田→野村電 (内閣総辞職ノ件)	〃		
2920	1941.8.28 同 上 (我方提案説明ノ件)	〃	LF/E/2920	
2921	1941.8.4 野村→豊田電 (来栖大使派遣要請ノ件)	〃	LF/E/2921	
2922	1941.10.10「グルー」覚書 (野村ヲ援助スル為外交官派遣準備中ナル旨豊田語ル)	〃	LF/E/2922	

立証段階	証書番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関係 （ 外 交 関 係 ）	2923	1941.1.16 東郷→野村電（来栖特使派遣事情説明ノ件）	22. 8.15 (251)	LF/E/2923
	2924	1941.1.14 東郷→野村電（最後訓令発出ノ件）	〃	LF/E/2924
	2925	1941.1.14 同上（甲案及之ニ対スル説明）	〃	LF/E/2925
	2926	1941.1.15 同上（甲案提出方指示ノ件）	〃	LF/E/2926
	2927	1941.1.1.10「ハル」覚書（野村「ルーズベルト」会談，甲案ニ関スル説明応酬）	〃	
	2928	1941.1.1.7 野村→東郷電（野村「ハル」会談，甲案説明，支那問題ニ関スル「ハル」ノ提案）	〃	LF/E/2928
	2929	1941.1.1.13 同上（野村「ハル」会談，米新提案ヲ出ス）	〃	LF/E/2929
	2930	1941.1.1.9 東郷→野村電（支那問題ニ関スル「ハル」提案ノ件）	〃	LF/E/2930
	2931	1941.1.1.10 東郷→野村電（「ハル」提案利用ノ件）	〃	LF/E/2931
	2932	同上（「ハル」提案ニ対スル措置ノ件）	〃	LF/E/2932
	2933	1941.1.1.10 野村→東郷電（米閣僚内話ノ件）	〃	LF/E/2933
	2934	1941.1.1.16 野村→東郷電（野村「ハル」会談，「ハル」言ヲ左右ニス）	〃	LF/E/2934
	2935	1941.1.1.12 國務長官→野村覚書（米側提示甲号）	〃	LF/E/2935
	2936	1941.1.1.16 東郷→野村電（上記甲号ニ対スル回答振りノ指示）	〃	LF/E/2936
2937	1941.1.1.17 野村→國務長官覚書（上記指示ニ基ク口頭声明）	〃	LF/E/2937	
2938	1941.1.1.17 東郷→野村電（9.25 日本案修正ノ件）	〃	LF/E/2938	

立証 段階	書証 番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
太 平 洋 関 係 外 交 関 係	2939	1941.1.1.17 野村→国務長官覚書(以上修正ノ口頭声明)	22. 8.15 (251)	LF/E/2939
	2940	1941.1.1.18 国務省会談覚書(野村, 来栖「ハル」会談)	〃	LF/E/2940
	2941	1941.1.1.21 野村→東郷電(野村「ハル」会談, 乙案)	〃	LF/E/2941
	2942	1941.1.1.17 同上(野村, 来栖「ルーズベルト」「ハル」会談「ルーズベルト」大統領日支ノ紹介者タラント提議ス)	〃	LF/E/2942
	2943	1941.1.1.23 同上(来栖ヨリノ「ハル」会談ノ追加報告)	〃	LF/E/2943
	2944	1941.1.1.26 東郷→野村電(石油需要量ノ件)	〃	LF/E/2944
	2945	1941.1.1.21 国務長官覚書(三国同盟ノ解釈ニ関スル来栖「ハル」会談)	〃	LF/E/2945
	2946	1941.1.1.23 野村→東郷電(野村「ハル」会談ノ追加報告)	〃	LF/E/2946
	2947	1941.1.1.23 東郷→野村電(「ルーズベルト」大統領ノ日支紹介者ノ件)	〃	LF/E/2947
	2948	1941.1.1.25 野村→東郷電(米英蘭豪支打合ノ件)	〃	LF/E/2948
	2949	1941.1.1.27 野村→東郷電(「ハル」ノート渡サル, 日米交渉妥結絶望)	〃	LF/E/2949
	2950	1941.1.1.28 同上(米側交渉公表ノ件)	〃	LF/E/2950
	2951	1941.1.2.3 東郷→野村電(交渉促進ノ件)	〃	LF/E/2951
	2952	1941.1.1.26 野村→東郷電(「ハル」トノ会談, 「ハル」ノート手交)	22. 8.18 (252)	LF/E/2952
2953	1941.1.1.7「グルー」日記抜萃(「タイムス・アドヴァタイザー」ノ日米交渉ニ関スル強硬論ニ対スル東郷ノ説明処理)	〃	LF/E/2953	
2954	1941.1.2.1 御前会議ニ於ケル総理大臣ノ説明	〃	LF/E/2954	

立証 段階	証 書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
太 平 洋 関 係 （ 外 交 関 係 ）	2955	1941.1.2.1 御前会議ニ於ケル外務大臣ノ説明	22. 8.18 (252)	LF/E/2955
	2956	1941.1.1.4 東郷→野村電(米ト共ニ英蘭トモ交渉妥結ニ導ク如ク働キカケルベキ旨ノ指示)	〃	LF/E/2956
	2957	1941.1.1.3 東郷→野村電(東郷「グルー」及東郷「クレギー」会談ノ報告)	〃	LF/E/2957
	2958	1941.1.1.1.10 「チャーテル」ノ演説	〃	LF/E/2958
	2959	1941.1.10.24 野村→東郷電(若杉「ウエルズ」会談)	〃	LF/E/2959
	2960	加瀬俊一口述書(「ルーズベルト」大統領親電ニ対スル処置)	〃	LF/E/2960
	2961	1941.1.2.7 東郷→野村電(「ルーズベルト」親電発送ノ真相調査)	〃	LF/E/2961
	2962	1941.1.2.6 野村→東郷電(国務省「ルーズベルト」親電発送中ナルヲ発表ス)	〃	LF/E/2962
	2963	松平康昌口述書(「ルーズベルト」親電ニ関スル加瀬氏トノ連結)	〃	LF/E/2963
	2964	亀山一二口述書(「ルーズベルト」親電ト外務省トノ関係、対米通告発出ノ状況、牒報電報処理ノ状況)	22. 8.19 (253)	LF/E/2964
	2965	1941.1.2.7 東郷→野村電(対米通告中一字訂正ノ電報)	〃	LF/E/2965
	2966	同 上 (対米通告中ノ第14部)	〃	LF/E/2966
	2967	結城司郎次口述書(在米大使館ニ於ケル対米通告処理状況)	〃	LF/E/2967
	2968	米ニテ傍受セル日本電報ノ発着時刻ヲ示ス一覧表	〃	LF/E/2968
2969	電報解説、配布ニ用スル時間ヲ示ス	〃	LF/E/2969	
2970	「ルフェス・S・ブラットン」大佐口述書(日本傍受電ノ処理、開戦ノ予期)	〃	LF/E/2970	

立証段階	証書番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 洋 関 係 (外 交 関 係)	2971	1941.1.27「マーシャル」→極東カリブ比島「ハワイ」各地区司令官電(日米開戦ニ対スル警告)	22. 8.19 (253)	LF/E/2971
	2972	ローレンス海軍大佐証言(通告手交3時間前ニ海軍ハ通告文ノ内容ヲ承知ス)	〃	LF/E/2972
	2973	真珠湾報告書 第10巻 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上拔萃 シュルツ中佐証言(12.6夜「ルーズベルト」大統領対米通告中ノ13部ヲ見テ「之ハ戦争ニナルゾ」ト洩ラス)	〃	LF/E/2973A
	2974	「サムナー・G・ウエルズ」証言(日本ノ暗号破棄ハ開戦ヲ意味スト考ヘタリ)	〃	LF/E/2974
	2975	1941.1.1.27外務省作成案(山本氏ノ鉛筆註記ノアルモノ)「将来ノ外交手段ノ概要」	〃	LF/E/2975
	〃 A~D	同上(山本鉛筆書キヲ本文ニ入レ「タイプ」セルモノ)	22. 8.20 (254)	
	2976	1941.1.1.30野村→東郷電(東条首相演説ノ米国内ニ於ケル反響ノ件)	〃	LF/E/2976
	2977	1941.1.2.1東郷→野村電(上記ニ対スル回答)	〃	LF/E/2977
	2978	1941.1.2.2寺崎書記官→「バレンタイン」覚書(上記回答ニ基ク米国内ノ口頭声明)	〃	LF/E/2978
太平洋 洋 関 係 (海 軍 関 係)	2979	真珠湾報告書 第2部 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上拔萃 「サムナー・ウエルズ」ノ証言	〃	LF/E/2979A
	2980	沢本頼雄口述書(海軍ノ制度組織)	22. 8.21 (255)	LF/E/2980
	2981	海軍組織系統一覽表	〃	LF/E/2981
	2982	海軍省軍令部業務互渉規定	〃	LF/E/2982
	2983	艦隊令	〃	LF/E/2983

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 （ 海 軍 関 係 ）	2984	聯合航空総隊令	22. 8.21 (255)	LF/E/2984
	2985	鎮守府令	〃	LF/E/2985
	2986	警備府令	〃	LF/E/2986
	2987	清水光美口述書（海軍ノ人事行政）	〃	LF/E/2987
	2988	海軍武官進級令（識別証換）	〃	
	〃 A	同上拔萃	〃	LF/E/2988A
	2989	矢野志加三口述書（海軍ニ於ケル教育）	〃	LF/E/2989
	2990	吉田英三口述書（南洋防備）	〃	LF/E/2990
	2991	林 寿夫口述書（同 上）	〃	LF/E/2991
	2992	近藤駿介口述書（同 上）	〃	LF/E/2992
	2993	小原潤一口述書（同 上）	〃	LF/E/2993
	2994	武川仁三郎口述書（同 上）	〃	LF/E/2994
	2995	鈴木 英口述書（同 上）	〃	LF/E/2995
	2996	後藤 譲口述書（同 上）	〃	LF/E/2996
2997	岩崎浅七口述書（同 上）	〃	LF/E/2997	
2998	若松 誠口述書（同 上）	〃	LF/E/2998	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関係 海軍 関係	2999	「ヴェネカー」独武官口述書(日独海軍協力ノ欠如,南洋防備ノ否定)	22. 8.22 (256)	LF/E/2999
	3000	野村直邦大將口述書(同上)	〃	LF/E/3000
	3000A	文書不存在ノ証明書(3通)	〃	LF/E/3000A
	3001	1941.1.2.7 現在米海軍省ニ於ケル建造中及完成艦艇報告	〃	LF/E/3001
	3002	同上ニ対スル正誤表	〃	LF/E/3002
	3003	吉田英三大佐口述書(日本海軍艦艇ノ比較)	〃	LF/E/3003
	〃 A	1941.1.2.7 現在日米在役艦艇比較表	〃	LF/E/3003A
	〃 B	1941.1.2.7 現在日米建造中艦艇比較表	〃	LF/E/3003B
	3004	米海軍人員表	22. 8.25 (257)	LF/E/3004
	3005	真珠湾報告書抜萃 米海軍ノ経費増加	〃	LF/E/3005
	3006	近藤信竹大將口述書(国防用兵ノ判断ト軍備)	〃	LF/E/3006
3007	三代辰吉大佐口述書(真珠湾攻撃)	〃	LF/E/3007	
3008	淵田美津雄大佐口述書(同上)	〃	LF/E/3008	
3009	源田 実大佐口述書(同上)	〃	LF/E/3009	
3010	草鹿竜之介中將口述書(同上)	22. 8.26 (258)	LF/E/3010	
3011	榎本重治口述書(ロンドン軍縮予備交渉及本会議)	〃	LF/E/3011	

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関 係 陸 軍 関 係	3012	支那事変ニ関スル公表集 (識別証拠)	22. 8.26 (258)	
	〃 A	同上抜萃 「日本陸軍仏印進駐ニ関スル日仏共同 コミュニケ」	〃	LF/E/3012A
	3013	沢田 茂中將口述書(北部仏印進駐)	〃	LF/E/3013
	3014	近藤信竹大將口述書(海南島占領)	〃	LF/E/3014
	3015	阿部勝雄中將口述書(北部仏印進駐)	〃	LF/E/3015
	3016	大東亜ニ関スル条約集 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1903.10.29附「雲南鉄道敷設ニ関スル 取極メ」	〃	LF/E/3016A
	3017	寺井邦三大佐口述書(1939.9.27 タッケー爆撃)	〃	LF/E/3017
	3018	山本親雄少將口述書(1940.2.1 雲南鉄道爆撃)	〃	LF/E/3018
	(628) B~D	林馨ノ証明書3通(帝国外交方針ノ声明中ノ文書 ノ証明)	22. 8.27 (259)	
	3019	佐藤武五郎口述書(検事側提出書証ノ証明書ニ関 スル説明)	〃	LF/E/3019
	3020	三代辰吉大佐口述書(南部仏印進駐)	〃	LF/E/3020
	3021	日笠 賢口述書(同上)	〃	LF/E/3021
	3022	東条被告尋問調書(同上)	〃	LF/E/3022
3023	西浦 進口述書(太平洋戦争前ノ陸軍々備)	〃	LF/E/3023	
3024	吉永義尊口述書(太平洋戦争前ノ陸軍兵器ノ整備)	〃	LF/E/3024	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関係 陸軍 関係	3025	吉田洞介口述書(軍票準備ノ状況)	22. 8.27 (259)	LF/E/3025
	3026	1941.10.29附「南方外貨表示軍票発行ノ件」	〃	LF/E/3026
	3027	田中新一中将口述書(参謀本部ノ作戦計画用兵国防判断軍備)	〃	LF/E/3027
	3028	美山要蔵口述書(「ワシントン」ニ送ラレシ陸軍省保管文書ノ件)	22. 8.28 (260)	LF/E/3028
	3029	東条被告尋問調書(太平洋戦争前ノ陸軍ノ準備)	〃	LF/E/3029
	3030	飯村 穰中将口述書(総力戦研究所ノ運営)	〃	LF/E/3030
	3031	1941.1.2現在日本陸軍機構一覽表	〃	LF/E/3031
	3032	東条被告訊問調書(陸軍ノ編成)	〃	
	3033	同上(内閣ト統帥部トノ権限トソノ関係)	〃	LF/E/3033
	3034	「クレッチマー」独武官口述書(日本陸軍将校ニ対スル独勲章ノ贈与)	〃	LF/E/3034
	3035	1941.12.8日泰軍事同盟ニ関スル条約	〃	LF/E/3035
	3036	阿金一夫大佐口述書(大東亜戦争開戦時ノ上海ノ接收)	〃	LF/E/3036
	3037	山本善雄少将口述書(大東亜戦争ベルレル攻撃, 租界接收)	〃	LF/E/3037
	3038	美山要蔵口述書(下記文書ノ確認)	〃	
〃 A	昭和6年密大日誌 第1冊 (識別証拠)	〃		
〃 B	同上 第3冊	〃		

立証 段階	証 書 番 号	証 書 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
太 平 洋 関 係 (陸 軍 関 係)	3038C	昭和6年永存書類 乙第3号	22. 8.28 (260)	
	// D	昭和7年陸軍密大日記	//	
	// E	同 上	//	
	// F	昭和6年満密大日記	//	
	// G	同 上 其ノ1	//	
	// H	昭和6年密大日記 第2冊	//	
	// I	同 上 第3冊	//	
	// J	同 上 第5冊	//	
太 平 洋 関 係 (俘 虜 関 係)	3039	松本俊一口述書(寿府条約準用ノ回答発出ノ経緯)	//	LF/E/3039
	3040	工藤忠夫口述書(俘虜取扱ニ関スル抗議文ノ処理 其他)	22. 8.29 (261)	LF/E/3040
	3041	国際赤十字委員会発行雑誌 (識別証拠)	//	
	// A	同上抜萃 赤十字視察団ノ各收容所訪問	//	LF/E/3041A
	3042	国際赤十字委員会発行雑誌	//	
	// A	同上抜萃 俘虜ノ情報交換ノ照会ニ日本応諾ス	//	LF/E/3042A
	3043	寿府条約批准ノ件ニ関スル海軍次官ヨリ外務次官 宛回答	//	LF/E/3043
	3044	寿府条約批准ノ件ニ関スル陸軍次官ヨリ外務次官 宛回答	//	LF/E/3044

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関係 (俘虜 関係)	3045	石井正美口述書(1941.11.20寺内南方総司令官ノ訓示)	22. 8.29 (261)	LF/E/3045
	3046	1942.4.9陸軍省副官→俘虜管理部長(俘虜取扱規程第二条ノ修正)	〃	LF/E/3046
	3047	1942.11.22俘虜取扱事務中一部ノ決裁権附与ノ件	〃	LF/E/3047
	3048	鈴木薫二口述書(東京收容所ニ於ケル管理状況)	〃	LF/E/3048
	3049	山崎 茂口述書(東条陸相ノ新任俘虜收容所長ニ対スル訓示)	〃	LF/E/3049
	3050	俘虜收容所規則 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 俘虜労務規則	〃	LF/E/3050A
	3051	1944.3.3陸軍次官→関係部隊(俘虜管理及待遇改善ニ関スル件)	〃	LF/E/3051
	3052	山本親雄少将口述書(潜水艦作戦ト残虐行為)	22. 9. 2 (262)	LF/E/3052
	3053	大海指綴 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1943.10.4大海指第209号(㊦ニオケル日独作戦海域ノ限界)	〃	LF/E/3053A
	3054	大海指綴 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1942.3.1大海指第60号(海戦法規ノ尊重)	〃	LF/E/3054A
	3055	海軍俘虜取扱規則	〃	LF/E/3055
3056	終戦後CLO→GHQ報告(海軍ノ俘虜收容所管理ノ件)	〃	LF/E/3056	
3057	富岡定俊少将口述書(クェゼリン事件ト中央トノ関係ノ否定, 潜水艦作戦ト残虐行為)	〃	LF/E/3057	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 関係 (俘虜 関係)	3058	大海指綴 (識別証拠)	22. 9. 2 (262)	
	〃 A	同上抜萃 1941.11.30大海指第15号(潜水艦 作戦全般)	〃	LF/E/3058A
	3059	同上中ノ別冊焼失ニ関スルニ復文書課長ノ証明書	〃	LF/E/3059
	3060	大海指綴	〃	
	〃 A	同上抜萃 1941.11.30大海指第282号(印度 洋ノ潜水艦作戦)	〃	LF/E/3060A
	(3050B)	1942.6.22大海指第107号(第二段作戦ノ命令)	〃	
	3061	大橋竜雄少将口述書(「リオデジャネイロ」丸ガ 赤十字ヲ付シアリシコトノ否定)	〃	LF/E/3061
	3062	大川内伝七中将口述書(マニラ海軍部隊ノ指揮系 統)	〃	
	3063	有馬玄医大佐口述書(医務の見地ヨリ見タル俘虜 ノ取扱)	〃	LF/E/3063
	3064	1945.1.26ニ復大臣→SCAP(中村少将→「ア レン」大佐「印度洋ニ於ケル商船撃沈ニ関スル 件回答」)	〃	LF/E/3064
	3065	高田利種少将口述書(海軍省ニ於ケル俘虜問題ノ 取扱)	〃	LF/E/3065
	3066	山本善雄少将口述書(海軍省ニ於ケル俘虜問題ノ 取扱)	〃	LF/E/3066
	(3054C)	1942.3.1大海指第61号(敵国中立国船舶処理ノ 指示)	22. 9. 3 (263)	
	3067	近藤譲太郎口述書(書証番号1969号ノ説明)	〃	LF/E/3067
	3068	杉田一次口述書(「シンガポール」ノ俘虜事件)	〃	LF/E/3068
3069	戦陣訓	〃	LF/E/3069	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関係 (俘 虜 関 係)	3070	一戸公哉口述書(「スマトラ」ニ於ケル戦陣訓ノ奉体)	22. 9. 3 (263)	LF/E/3070
	3071	「クレッチマー」独武官口述書(比島収容所視察ノ状況)	〃	LF/E/3071
	3072	稲田正純口述書(泰緬鉄道地区ニ於ケル俘虜ノ待遇)	〃	LF/E/3072
	3073	沢田 茂口述書(上海共同租界接收ノ状況)	〃	LF/E/3073
	3074	「メアリー・マーチン」夫人口述書(香港ニ於ケル日本官憲ノ厚遇)	〃	LF/E/3074
	3075	菰田康一口述書(広東ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3075
	3076	岡田芳政口述書(柳州ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3076
	3077	小屋迫要口述書(同上)	〃	LF/E/3077
	3078	豊島房太郎口述書(長沙ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3078
	3079	鈴木貞次口述書(柳州ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3079
	3080	米山米鹿口述書(同上)	〃	LF/E/3080
	3081	黒田重徳口述書(綏遠省(五県)ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3081
	3082	阿部芳光口述書(香港ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3082
	3083	下田千代士口述書(広東附近ニ於ケル残虐行為ノ否定)	22. 9. 4 (264)	LF/E/3083
	3084	岡部栄一口述書(満洲ニ於ケル国際法ニ基ケル俘虜ノ取扱)	〃	LF/E/3084
3085	池尻 敏口述書(木村ビルマ方面軍司令官ノ部下指導ト行政残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3085	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関係 （ 俘 虜 関 係 ）	3086	桜井徳太郎口述書(木村ビルマ方面軍司令官ノ部下指導ト行政残虐行為ノ否定)	22. 9. 4 (264)	LF/E/3086
	3087	田住元三大尉訊問調書(「ラングーン」俘虜收容所ニ於ケル俘虜ノ取扱)	〃	LF/E/3087
	3088	同 上	〃	LF/E/3088
	3089	一田次郎少将口述書(木村軍司令官ノ部下指導ト行政残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3089
	3090	マーシャル元帥ノ陸軍長官宛報告(ビルマ戦線ニ於ケル日本軍ノ敗北)	〃	LF/E/3090
	3091	吉田権八口述書(木村軍司令官ノ部下指導ト行政残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3091
	3092	平岡閔造口述書(同 上)	〃	LF/E/3092
	3093	山口英治口述書(ビルマニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	
	3094	山口裁判記録 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 石川菊雄証言(比島ニ於ケル食糧ノ不足)	〃	LF/E/3094A
	3095	古思三郎口述書(スマトラニ於ケル俘虜及抑留者ノ取扱)	〃	LF/E/3095
	3096	奉天收容所視察ニ関スル「ベスタロッチ」博士(赤十字委員)ノ寿府宛報告	22. 9. 5 (265)	LF/E/3096
	3097	戦時服務提要 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 正義公平ニ基ク俘虜ノ取扱, 軍紀ノ振束	〃	LF/E/3097A
3098	西浦 進口述書(陸軍ニ於ケル俘虜ノ取扱)	〃	LF/E/3098	
3099	小林修次郎口述書(比島ノ戦況ト俘虜ノ取扱)	〃	LF/E/3099	

立証段階	証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
太平洋 関係 (俘 虜 関 係)	3100	安田常雄口述書(泰緬鉄道建設ニ当リテノ医務的準備)	22. 9. 5 (265)	LF/E/3100
	3101	児玉久蔵口述書(軍紀風紀維持振肅ニ関スル中央処置)	〃	LF/E/3101
	3102	村田省蔵口述書(パターン行進ノ実情)	〃	LF/E/3102
	3103	渡辺安次口述書(日本船舶ノ減少ト国民生活, 海外部隊ヘノ補給関係)	22. 9. 8 (266)	LF/E/3103
	3104	俘虜派遣規則	〃	LF/E/3104
	3105	1943年陸軍省改正(派遣俘虜ノ取扱ニ関スルモノ)	〃	LF/E/3105
	3106	1944年陸軍省通牒(食糧ノ節用ニ関スルモノ)	〃	LF/E/3106
	3107	1945.2 管理部長→関係部隊(俘虜給与適正化ニ関スル件)	〃	LF/E/3107
	3108	1943.6.4 管理部長→関係部隊(死傷俘虜ノ取扱) 1944.2.3 管理部長→関係部隊(俘虜收容設備ニ関スル件)	〃	LF/E/3108
	〃 A	同上文書ノ出所証明書	〃	LF/E/3108A
	3109	小田島薫口述書(内地, 台湾, 朝鮮, 満洲ニ於ケル俘虜取扱ノ実体)	〃	LF/E/3109
	3110	陸軍々医学校ニ於ケル研究報告	〃	LF/E/3110
	3111	同上(俘虜ノ栄養状態ト之ノ対策)	〃	LF/E/3111
	3112	1943.5 東京收容所月報	〃	LF/E/3112
3113	1943.2 梅津関東軍司令官ノ衛生勤務ニ関スル命令	〃	LF/E/3113	
3114	收容所内ノ作業状態ニ関スル報告	〃	LF/E/3114	

立証段階	書証番号	書証名（内容要旨）	法廷ニ提出年月日（公判日次）	請求記号
太平洋 関 係 （ 俘 虜 関 係 ）	3115	1942.7.7 山下將軍→「スミス」少將（慰問品贈与ノ件）	22. 9. 8 (266)	LF/E/3115
	3116	大阪・函館収容所長報告（国民ノ対俘虜感情ノ悪化）	〃	LF/E/3116
	3117	高木 昇口述書（大阪収容所長ノ俘虜取扱ニ関スル訓示）	〃	LF/E/3117
	3118	1944.4 東京収容所月報抜萃（俘虜ノ献立表）	〃	LF/E/3118
	3119	広島収容所ニ於ケル某日ノ献立表	〃	LF/E/3119
	3120	大阪収容所軍医官ノ研究論文	〃	LF/E/3120
	3121	1944.12.26「メーヤー」中佐→東京収容所長（クリスマス当日ノ厚情ニ対スル感謝）	〃	LF/E/3121
	3122	1945.8.22「シドニー」大尉→広畑製鉄所長（俘虜生活中ニウケシ厚情ニ対スル感謝）	〃	LF/E/3122
	3123	俘虜將校ノ自発的就労状況報告	〃	LF/E/3123
	3124	1943.3 東京収容所月報（俘虜ノ食事）	〃	LF/E/3124
	3125	1944.6 福岡収容所月報（同上）	〃	LF/E/3125
	3126	1944.11 善通寺収容所月報（同上）	〃	LF/E/3126
	3127	久保田篤次郎口述書（満洲ニ於ケル俘虜ノ使用状況）	〃	LF/E/3127
	3128	俘虜関係中央調査委員会作成（内地俘虜取扱ニ関スル件調査報告）	〃	LF/E/3128
3129	1942.5.26 中村憲兵司令官→杉山参謀総長（「ドゥリットル」飛行士八名ノ件調査報告）	〃	LF/E/3129	
3130	1942.10.10 参謀総長→支那派遣軍総司令官（飛行士判決減刑ノ件）	〃	LF/E/3130	

立証段階	証書番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋関係	3131	1942.10.10参謀総長一支那派遣軍総司令官(飛行士ノ処刑ノ件)	22. 9. 8 (266)	LF/E/3131
	3132	軍法会議設置ニ関スル参謀総長ノ命令	〃	LF/E/3132
	3133	俘虜処罰規則(明治38年法律)	〃	LF/E/3133
	3134	大山文雄口述書(軍法会議ニ於ケル俘虜処罰)	〃	LF/E/3134
	3135	灘第9801部隊軍法会議ニ於ケル濠洲軍俘虜ノ判決文	〃	LF/E/3135
	3136	国際赤十字委員会報告抜萃 満洲ニ於ケル俘虜ノ待遇	〃	LF/E/3136
	3137	「Charles R. Jackson」口述書(1944.9以降ノ花輪收容所ニ於ケル待遇)	22. 9. 9 (267)	LF/E/3137
	3138	俘虜收容所報第2128号続報第2129号視察報告	〃	LF/E/3138
	3139	俘虜ヨリ各俘虜收容所長ノ工場主ニ対スル感謝状綴	〃	LF/E/3139
	3140	1942~1945年各收容所視察面会一覧表	〃	LF/E/3140
	3141	「パラオ・マレラ」大司教陳述書(各收容所視察ノ状況)	〃	LF/E/3141
	3142	三人ノ俘虜ニ関スル軍法会議記録	〃	LF/E/3142
	3143	斎藤良衛口述書(三国同盟ニ関聯スル松岡ノ言動)	〃	LF/E/3143
	3144	松本俊一口述書(三国同盟成立ノ経緯)	〃	LF/E/3144
	3145	日独伊三国条約附属文書各議案文作成及国内手續経過概要 (識別証拠)	〃	
〃 A	同上抜萃	〃	LF/E/3145A	

立証段階	証番	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
太平洋 洋 関 係	三盟 国 同 関 係	3146	「オット」大使口述書 (日独関係)	22. 9. 9 (267)	LF/E/3146
		陸 関 軍 係	3147	村田八千穂口述書 (日本ニ於ケル行賞)	〃
支 那 関 係			3148	1932年ニ於ケル中国共産党ノ歴史 (識別証拠)	〃
		3149	1933年ニ於ケル中国共産党ノ歴史 (同上)	〃	
		3150	1934年ニ於ケル中国共産党ノ歴史 (同上)	〃	
		3151	1935年ニ於ケル中国共産党ノ歴史 (同上)	〃	
		3152	1936年ニ於ケル中国共産党ノ歴史 (同上)	〃	
		3153	1937年ニ於ケル中国共産党ノ歴史 (同上)	〃	
		3154	馬場 鮎口述書 (満洲及中国ニ於ケル阿片政策)	〃	LF/E/3154
ソ 聯 関 係		3155	昭和7年陸地測量部発行「ハイラル」地方地図	〃	LF/E/3155
		3156	昭和8~11年日本土地測量部作成「ノモンハン」地方地図	〃	LF/E/3156
		3157	書証番号2713号ノ出所証明書 地図6葉付	〃	LF/E/3157
		3158	「ウッドヘッド」口述書 (満洲国ト溥儀ノ関係)	22. 9.10 (268)	
太 平 洋 関 係	俘 虜	3159	柏徳口述書 (熱河省ニ於ケル残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3159
個 人 関 係	荒 木 被 告	3160	1928年以降ノ重要事件ト荒木被告ノ関係ヲ示ス 図表 (識別証拠)	〃	LF/E/3160
		3161	荒木貞夫口述書 (荒木大将ノ理念行動等)	〃	LF/E/3161

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人関係	3162	荒木被告陳述書(1946.2 検事質問ニ對手記セルモノ)	22. 9.11 (269)	LF/E/3162
	3163	上海事変外交史 (識別証拠)	〃	LF/E/3163
	〃 A	同上抜萃 1932.2.18 植田帥団長声明	〃	LF/E/3163A
	〃 B	同上抜萃 1932.3.1 白川軍司令官声明	〃	LF/E/3163B
	3164	「全日本国民ニ告グ」(荒木陸相講演等ニ関スル諸記事ノ集録図書) (識別証拠)	22. 9.12 (270)	
	〃 A	同上抜萃	〃	LF/E/3164A
	3165	昭和8年満密大日記 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1933.4 荒木陸相一関東軍司令官電原書(熱河作戦成功ノ慶祝電)	〃	LF/E/3165A
	3166	1934.1.20 荒木陸相一斎藤首相書翰(緊急施策基礎案)	22. 9.15 (271)	LF/E/3166
	3167	1932.8.23 荒木陸相議會演説(満洲事変及上海事変ノ報告)	〃	LF/E/3167
	3168	真崎甚三郎口述書(満洲事変以後ノ荒木陸相ノ処置)	〃	LF/E/3168
	3169	有田八郎口述書(一次近衛,平沼,米内ト荒木トノ関係)	〃	LF/E/3169
	3170	石渡莊太郎口述書(書証番号667号ノ反駁,平沼内閣ト荒木ノ関係)	〃	LF/E/3170
	3171	横溝光暉口述書(内閣官房ニ於ケル記録保管ノ状況)	22. 9.16 (272)	
	3172	富田健治口述書(第二次近衛内閣ニ於ケル荒木大将參議就任交渉ノ経緯)	〃	LF/E/3172
	3173	中島虎吉口述書(満洲事変後ニ於ケル荒木陸相ノ言動)	〃	LF/E/3173

立段	証階	書証番	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個人関係	荒木被	3174	1932.1.30 枢密院議事録 (荒木陸相ノ滿洲上海事変ニ関スル報告)	22. 9.16 (272)	LF/E/3174	
		3175	パンフレット「教育審議会」 (識別証拠)	〃		
		〃 A	同上抜萃 1938.1.13 教育審議会第2回会議録 (青校教育義務制ニ関スル木戸文相ノ説明)	〃		
	土肥原被	告	3176	愛沢 誠口述書 (奉天特務機関ノ組織ト業務遂行ノ実情)	〃	LF/E/3176
			3177	奉天特務機関作成情報綴 (識別証拠)	22. 9.17 (273)	
			〃 A	同上抜萃 板垣, 土肥原ニツキノベアル部分	〃	LF/E/3177A
			3178	柴山兼四郎口述書 (土肥原ノ言動ト秦徳純証言ノ否定)	〃	LF/E/3178
			3179	桑島主計口述書 (天津総領事当時ノ電報ノ内容ノ情報ニ関スル説明)	〃	LF/E/3179
			3180	極東調査団記録 (識別証拠)	〃	
			〃 A	同上抜萃 1932.5.3 「リットン」卿ト土肥原少将会见記録	〃	LF/E/3180A
			3181	矢崎勘十口述書 (北支作戦中ノ土肥原師団長ノ言動)	〃	LF/E/3181
			3182	渡瀬亮輔口述書 (北支作戦中ノ土肥原師団長ノ言動)	〃	LF/E/3182
			3183	1937.3 文芸春秋 (識別証拠)	〃	
			〃 A	同上抜萃 土肥原著「対支工作ノ再建」	〃	LF/E/3183A
			3184	桜井徳三郎口述書 (北支作戦中ノ土肥原師団長ノ言動)	〃	LF/E/3184
3185	服部卓四郎口述書 (土肥原ノ「ノモンハン」事件ト無関係ノ実証)	〃	LF/E/3185			

立段	証階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号	
個人	土肥原被告	3186	不破 博口述書(第七方面軍ト俘虏取扱ノ関係)	22. 9.18 (274)	LF/E/3186	
		3187	真田襖一郎口述書(軍事参議官ノ職務)	"		
		3188	河辺虎四郎口述書(航空総監,航空本部長,軍事参議官ノ職務)	"	LF/E/3188	
		3189	辰巳栄一口述書(東部軍ト俘虏取扱ノ関係)	"	LF/E/3189	
	橋本被告	3190	橋本欣五郎著書一覧表	"	LF/E/3190	
		" A	橋本欣五郎論文一覧表	"	LF/E/3190A	
		3191	書証番号734号抜萃 1929.11.15橋本武官一岡本次長(「コウカサス」事情及之ガ謀略の利用)	"	LF/E/3191	
		3192	小幡 実口述書(レディバード号事件)	"	LF/E/3192	
		3193	小川喜一口述書(大日本青年党赤誠会,翼賛壮年団ノ業務組織)	"	LF/E/3193	
		3194	鈴木 京口述書(1934.8曙荘ノ会合ト橋本ノ無関係)	"	LF/E/3194	
		3195	橋本被告口述書(トルコ武官, 参本ロシヤ班長, 重砲兵連隊長, 大日本青年党々主, 大日本赤誠会々長, 大政翼賛会総務等ニ於ケル言動, 論文, 著書等)	"	LF/E/3195	
	係	畑被告	3196	宇垣一成口述書(1944年支那旅行ノ際ノ畑総司令官トノ関係)	22. 9.19 (275)	LF/E/3196
			3197	宮野正年口述書(「ドウリットル」飛行士軍律会議ト畑ノ関係)	"	LF/E/3197
			3198	米内光政口述書(米内々閣ノ倒壊ト畑陸相トノ関係)	"	LF/E/3198
		告	3199	1940.7.17朝日新聞縮刷版 (識別証拠)	22. 9.22 (276)	
" A			同上抜萃 畑陸相ヨリ米内首相ヘノ重大進言ノ件	"	LF/E/3199A	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	3200	有田八郎口述書(米内々閣及畑陸相ノ三国同盟ニ対スル態度, 畑陸相辞職ノ状況)	22. 9.22 (276)	LF/E/3200
	3201	第七十五議会予算委員会議事録	〃	
	3202	野田謙五口述書(1940.7.東条陸相任命ノ状況)	〃	LF/E/3202
	3203	飯沼 守口述書(1939.9.武藤軍務局長任命ノ状況)	〃	LF/E/3203
	3204	及川古志郎口述書(1941.9.畑総司令官ノ支那全面撤兵ノ提案)	〃	LF/E/3204
	3205	沢田 茂口述書(畑陸相辞職ノ真相)	〃	LF/E/3205
関係	3206	田中隆吉口述書(「ドゥリットル」事件ト畑及中央トノ関係)	22. 9.23 (277)	LF/E/3206
	3207	「Charles N. Spinks」口述書(爆撃調査団ニヨル星野被告訊問ノ状況)	〃	LF/E/3207
	3208	「Francis R. Millard」口述書(同上)	〃	LF/E/3208
	3209	石渡荘太郎口述書(星野被告ノ満洲国官吏就任ノ事情)	〃	LF/E/3209
	3210	松本 俠口述書(満洲国官吏トシテノ星野被告ノ活動)	〃	LF/E/3210
	3211	高倉 正口述書(同上)	〃	LF/E/3211
	3212	星野被告訊問調書(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 満洲国関係事項	〃	LF/E/3212A
	3213	村上恭一口述書(枢密院会議ト無任所大臣ノ関係 枢密院会議々事録ノ性質)	〃	LF/E/3213
	3214	小畑忠良口述書(満洲国官吏及企画院総裁トシテノ星野ノ行動)	〃	LF/E/3214

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個人	3215	日満支経済懇談会報告書 (識別証拠)	22. 9.24 (278)		
	星 " A	同上抜萃 1938.12.3新京ニ於ケル星野ノ演説	"	LF/E/3215A	
	(2797 A)	「日本ノ軍需産業」抜萃 経済新体制ト産業組合法	"		
	野 3216	牛場友彦口述書(近衛手記「経済閣僚ノ更迭」ノ確認)	"	LF/E/3216	
	" A	近衛手記「経済閣僚ノ更迭」	"	LF/E/3216A	
	被 3217	大島弘夫口述書(総力戦研究所々長代理トシテノ星野ノ行動)	"	LF/E/3217	
	3218	村上 一口述書(企画院総裁辞任ヨリ書記官長就任マデノ星野ノ行動)	"	LF/E/3218	
	告 3219	内閣職員職務官制	"	LF/E/3219	
	3220	稲田周一口述書(星野ノ書記官長就任状況ト書記官長トシテノ行動)	"	LF/E/3220	
	関係	3221	賞勲会議規則	"	LF/E/3221
		平 3222	1939.5.18「グルー」→米国務省電(平沼首相ヨリ国務長官メッセージ)	"	LF/E/3222
		3223	1939.7.8 国務省→「ドウマン」電(前電ニ対スル米国政府ノ回答)	"	LF/E/3223
		3224	米大統領ヨリ平沼首相ヘノ回答	"	LF/E/3224
		被 3225	1939.6.7「ドウマン」→国務長官報告書(欧州情勢ニ関スル日本ノ外交政策)	"	LF/E/3225
告 3226		「F.S.G.ピゴット」少将口述書(天津事件解決ニ対スル平沼ノ努力)	"	LF/E/3226	
3227		斎藤良衛口述書(1941.5閣議ニ於ケル平沼ノ日米戦反対説)	"	LF/E/3227	

立証段階	証書番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個人	平	3228 村田五郎口述書(1941.8平沼狙撃事件)	22. 9.24 (278)	LF/E/3228	
	沼	3229 岡田啓介口述書(重臣会議=於ケル平沼ノ態度, 戦争終結=対スル平沼ノ努力)	〃	LF/E/3229	
	被	3230 1943.8.13 岡田→近衛手紙(時局重大=鑑ミ政府ノ 重臣会議開催ノ招待)	〃	LF/E/3230	
	告	3231 平沼節子口述書(1945.8.15平沼邸ノ襲撃)	22. 9.25 (279)	LF/E/3231	
	広被 田告	3232 1932.10.15 東京朝日新聞記事(広田ノ日ソ不可 侵条約=関スル声明)	〃	LF/E/3232	
	畑	(3205A) 一復文書課長証明書(閑院宮ヨリ畑陸相宛手紙ノ不 存在)	22. 9.26 (280)	LF/E/3205A	
	被	(〃 B) 神崎正義口述書(同上)	〃		
	告	3233 田中隆吉口述書(三国同盟支那ヨリ撤兵=対スル 畑ノ態度)	〃	LF/E/3233	
	関係		3234 亀山一二口述書(東支鉄道譲渡ノ交渉=於ケル広 田ノ態度)	〃	LF/E/3234
		広	3235 北満鉄道譲渡交渉ノ関係発表	〃	
		〃 A 同上抜萃 1933.6.26 第1回会議=於ケルソ聯代 表ノ演説	〃	LF/E/3235A	
田		3236 「グルー」日記抜萃 1933.9.18 広田「グルー」 会談	〃	LF/E/3236	
被		3237 1934.1.27 広田外相議会議演説(平和政策ノ明示)	〃	LF/E/3237	
		3238 1934.2.7 同上 (中国ノ内情=対スル日本ノ態度)	〃	LF/E/3238	
告		3239 1934.2.21 広田→米國務長官メッセージ(日米関 係改善)	〃	LF/E/3239	
		3240 「グルー」日記抜萃 広田トソ聯大使トノ会談	〃	LF/E/3240	

立 証 段 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 = 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号	
個 人	広 田	3241	桑島主計口述書(日華関係ノ改善ニ対スル広田ノ努力)	22. 9.26 (280)	LF/E/3241
		3242	1935.11.17「ロンドン」藤井代理大使→広田外相電(華北ニ於ケル自治政權樹立工作ニ関スル英国新聞ノ報道)	22. 9.29 (281)	LF/E/3242
		" A	1935.11.22有吉中華公使→広田外相電(華北ニ於ケル自治政權樹立工作ニ関スル上海英字新聞ノ報道)	"	
		3243	1934.4.20須磨南京総領事→広田外相電(有吉・汪精衛会談ノ報告)	"	LF/E/3243
		3244	1934.4.25広田外相→各国駐在大公使領事電(天羽声明ニ関スル広田「リンドレー」会談内容ノ通知)	"	LF/E/3244
	被 告	3245	1934.4.26 同 上 (天羽声明ニ関スル広田「グルー」会見ノ通知)	"	LF/E/3245
		3246	同 上 (天羽声明ニ関スル「グルー」ニ与エタル声明要旨ノ通知)	"	LF/E/3246
		3247	1935.1.22広田外相ノ議會ニ於ケル外交方針演説	"	LF/E/3247
		3248	1935.1.25広田外相ノ議會ニ於ケル答弁	22. 9.30 (282)	LF/E/3248
		3249	1935.2.21 同 上	"	LF/E/3249
係 告	3250	1935.3.1 同 上	"	LF/E/3250	
	3251	1934.3.25広田「リトヴィノフ」間交換電(東支鉄道交渉成立ノ慶祝)	"		
	3252	1934.3.14「リトヴィノフ」ノ日本人記者ニ対スル声明(同 上)	"	LF/E/3252	
	3253	1935.8.5 広田外相→在支大公使領事電	"	LF/E/3253	
	3254	1935.9.28 広田外相→在滿支各地機関電(对支政策成案ノ内示)	"	LF/E/3254	
	3255	1935.10.4 同 上 (对支政府ノ広田三原則ノ通知)	"	LF/E/3255	

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人 関係	3256	1935.1.14 須磨南京総領事→広田外相電 (日支交渉ノ前途ノ困難ト北支問題ノ関係)	22. 9.30 (282)	LF/E/3256
	3257	1935.1.21 同上 (有吉・蔣介石会談内容ノ報告)	〃	
	3258	次田大三郎口述書 (陸海軍大臣現役武官制ノ効果, 広田内閣辞職ノ経緯)	〃	LF/E/3258
	3259	井野碩哉口述書 (企画庁総裁トシテノ広田ノ行動)	〃	LF/E/3259
	3260	堀内謙介口述書 (支那事変発生後平和解決ニ対スル広田ノ努力)	〃	LF/E/3260
	3261	電報不存在ニ関スル一復文書課長ノ証明書	〃	LF/E/3261
	3262	1937.1.0.1 決定「支那事変対処要綱」	22.10. 1 (283)	LF/E/3262
	3263	1937.1.2.24 閣議決定「支那事変対処要綱」	22.10. 2 (284)	LF/E/3263
	3264	1938.1.1.1 御前会議記録	〃	LF/E/3264
	3265	1938.1.1.0 附「支那事変処理根本方針ニ関スル件」	〃	LF/E/3265
	3266	外務省文書課長林馨口述書 (次ノ文書ノ説明)	〃	LF/E/3266
	3267	1936.7.24 附「日独間ノ政治協定問題」 (外務省文書)	〃	
	3268	1937.1.0.22 附三相決定文書 (支那事変処理ノ件) (陸, 海, 外) (識別証拠)	〃	LF/E/3268
	3269	1938.1.1.4 附「御前会議開催ニ至ル経緯」	〃	LF/E/3269
	3270	1938.1.2.1 近衛→広田書翰 (国策大綱ニ関スル件)	〃	LF/E/3270
3271	1938.2.8 外務省情報部長→在支外交使臣電	〃	LF/E/3271	

立段	証階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人関係	広田	3272	1938.2.18附「大本営御前会議=関スル件」	22.10. 2 (284)	LF/E/3272
		3273	日高信六郎口述書(支那事変発生後=於ケル中国側トノ交渉経緯)	〃	LF/E/3273
		〃 A	文書電報不存在=関スル外務省文書課長証明書	〃	LF/E/3273A
		3274	岡本季正口述書(上海事変前後=於ケル広田ノ努力)	〃	LF/E/3274
		3275	1937.8.4広田外相→岡本上海総領事電(船津氏派遣=関スル準備ノ訓令)	〃	LF/E/3275
		3276	1937.8.7広田外相→川越大使電(停戦交渉開始ノ訓令)	〃	LF/E/3276
		3277	1937.8.7 同 上 (停戦ノ交渉案ノ件)	22.10. 3 (285)	LF/E/3277
	被	3278	林 馨口述書(電報不存在ノ証明)	〃	LF/E/3278
		3279	1937.8.6「グルー」日記(日支紛争=対スル英米共同申入)	〃	
		3280	1937.8.8広田外相→川越大使電(停戦交渉案=関スル件)	〃	LF/E/3280
		〃 A	同 上 (停戦交渉条件案)	〃	LF/E/3280A
		〃 B	同 上 (同上=対スル説明)	〃	LF/E/3280B
		〃 C	同 上 (日支国交全般の調整要綱案)	〃	LF/E/3280C
		〃 D	同 上 (停戦交渉案ノ取扱上ノ注意ト日本側ノ見解)	〃	LF/E/3280D
告	3281	1937.9.20「グルー」日記(対支爆撃=対スル米ノ抗議ト広田ノ態度)	〃		
	3282	同 上	〃		

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個人	広田	3283	1937.10.21,22「グルー」日記(日本ノ「ブラッセル」会議出席拒否ノ理由)	22.10. 3 (285)	
		3284	1937.11.16 同上 (米ノ反日宣伝ニ対スル広田ノ非難)	〃	LF/E/3284
		3285	1937.12.13 同上 (パネー号事件ニ対スル広田ノ態度)	〃	LF/E/3285
		3286	「クレギー著」[[Behind the Japanese Mask]抜萃 (レディバード号事件ニ対スル広田ノ態度)	〃	LF/E/3286
		3287	石射猪太郎口述書(南京事件ニ対スル外務省当局ノ処置)	〃	LF/E/3287
		〃 A	林 馨口述書(文書及電報不存在ノ証明)	〃	LF/E/3287A
		3288	1938.1.29 広田外相ノ議会演説(支那全土ノ保全)	〃	LF/E/3288
	被告	3289	1938.3.4 同上 (軍縮会議ニ対スル見解)	〃	LF/E/3289
		3290	有田八郎口述書(広田ノ米内々閣参議就任ノ経緯, 三国同盟ニ対スル広田ノ態度)	〃	LF/E/3290
		3291	米内光政口述書(三国同盟ニ対スル広田ノ態度)	〃	LF/E/3291
		3292	松平康昌口述書(内閣主班ニ対スル広田ノ見解)	〃	LF/E/3292
		3293	元ポーランド大使「ダグラス・ラメール」口述書(三国同盟ニ対スル広田ノ態度)	〃	LF/E/3293
		3294	1941.2.1「グルー」日記(日米関係ニ管テナキ暗影)	〃	LF/E/3294
		係	板垣被告	3295	島本正一作成文書(内容不明) (識別証拠)
3296	1932.1.11 附「新滿蒙建設日支名士座談会」記事			〃	LF/E/3296
〃 A	同上抜萃 干沖漢, 鄭鑑修新国家建設ノ必要ヲ説ク			〃	

立 段	証 階	書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
個 人 関 係	板 垣 被 告	3297	小沢開作口述書(協和会ト板垣ノ無関係)	22.10. 6 (286)	LF/E/3297
		3298	国分新七郎口述書(第五師団長トシテノ板垣ノ南京事件トノ無関係)	〃	LF/E/3298
		3299	古野伊之助口述書(第一次近衛内閣陸相就任前ノ板垣ノ对华態度)	〃	LF/E/3299
		3300	近衛手記「失ハレタル政治」 (識別証拠)	〃	LF/E/3300 〔証明書〕
		〃 A	同上抜萃 板垣陸相就任交渉ノ状況	〃	LF/E/3300A
		〃 B	同上抜萃 近衛内閣ノ日華和平ヘノ努力	〃	LF/E/3300B
		〃 C	同上抜萃 日支事変拡大ノ理由	〃	LF/E/3300C
		3301	山脇正隆口述書(陸相トシテノ板垣ノ日華和平ヘノ努力)	〃	LF/E/3301
		3302	1939.4.22 土肥原機関春家少佐→次官次長土肥原電	〃	LF/E/3302
		3303	1939.1.6 中外産業新報(板垣ノ平沼内閣へ留任ノ条件)	〃	LF/E/3303
		3304	陸軍次官通牒「事変地ヨリ帰還ノ軍隊軍人ノ状況」	〃	LF/E/3304
		3305	岡田芳政口述書(支那派遣軍参謀長トシテノ板垣ノ日華和平ヘノ努力)	〃	
		3306	大本營命令不存在ニ関スル一復文書課長ノ証明書	22.10. 7 (287)	LF/E/3306
		〃 A	沢田 茂口述書(1940.7.5 附大本營命令 南支派遣軍ヲ支那派遣軍ヨリ離脱)	〃	LF/E/3306A
		3307	井原潤二郎口述書(朝鮮ニ於ケル俘虜取扱ト板垣ノ態度)	〃	LF/E/3307
3308	1942年赤十字代表ノ朝鮮俘虜收容所視察報告	〃	LF/E/3308		

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人	3309	1943.1.1.15 京城収容所ニ於ケル赤十字代表ト俘虜代表ノ会見記録	22.10. 7 (287)	LF/E/3309
	3310	1944 年赤十字代表ノ朝鮮俘虜収容所視察報告	〃	LF/E/3310
	3311	植山徹夫口述書 (第七方面軍ニ於ケル俘虜取扱ト板垣ノ態度)	〃	LF/E/3311
	3312	綾部橘樹口述書 (同上)	〃	LF/E/3312
	3313	齋藤正鋭口述書 (マレイ収容所ニ於ケル俘虜ノ取扱)	〃	LF/E/3313
	3314	上杉源之口述書 (書証番号 1514A 及ビ 1614A ト板垣トノ無関係)	〃	LF/E/3314
	3315	高山彦一口述書 (第三十七軍ト第七方面軍トノ関係)	〃	LF/E/3315
	3316	板垣征四郎口述書 (同上)	〃	LF/E/3316
	3317	満密受大日記 (識別証拠)	22.10. 9 (289)	
	〃 A	同上抜萃 1935.11 関東軍司令官→陸軍大臣 (動員報告)	〃	LF/E/3317A
	3318	満密受大日記 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1935.1.1.16 関東軍命令 (飛行部隊ノ動員)	〃	LF/E/3318A
	3319	関東軍参謀長→次官 (鉄道、港湾等ニ関スル報告)	〃	LF/E/3319
	関係	賀屋被	3320 塩野季彦口述書 (近衛内閣ノ文官閣僚ノ支那事変トノ責任関係)	22.10.10 (290)
3321		石渡荘太郎口述書 (大蔵省ト陸軍重要産業五ヶ年計画トノ無関係)	〃	LF/E/3321
3322		結城豊太郎口述書 (軍事予算削減ニ対スル賀屋ノ努力、日米交渉ニ対スル賀屋ノ態度)	22.10.13 (291)	LF/E/3322

立 証 段 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号	
個 人 関 係	賀 屋	3323	明石照男口述書(経済財政々策ニ対スル賀屋ノ努力)	22.10.13 (291)	LF/E/3323
		3324	津島寿一口述書(ロンドン軍縮会議其ノ他軍事予算削減ニ対スル賀屋ノ努力)	〃	LF/E/3324
		3325	内田信也口述書(軍事予算削減ニ対スル賀屋ノ努力)	〃	LF/E/3325
		3326	岡崎康一口述書(同 上)	〃	LF/E/3326
		3327	為本博篤口述書(同 上)	〃	LF/E/3327
		3328	豊田貞次郎口述書(軍縮条約ノ成立ニ対スル賀屋ノ努力)	〃	LF/E/3328
		3329	小林躋造口述書(同上及ビ軍事予算削減ニ対スル賀屋ノ努力)	〃	LF/E/3329
		3330	後藤隆之助口述書(賀屋ノ第一次近衛内閣蔵相辞任ノ事情)	〃	LF/E/3330
		3331	山本熊一口述書(連絡会議ニ於ケル賀屋ノ日米交渉妥結ニ対スル努力)	〃	LF/E/3331
	被 告	3332	1941.11.2 木戸日記(同 上)	〃	LF/E/3332
		3333	武藤被告訊問調書抜萃 「ハル」ノト受領後ノ賀屋ノ日米交渉ヘノ態度	〃	LF/E/3333
		3334	川越丈夫口述書(健全財政維持ニ対スル賀屋ノ努力)	〃	LF/E/3334
		3335	亀山孝一口述書(阿片委員会ト賀屋トノ関係)	〃	LF/E/3335
		3336	東条被告訊問調書抜萃 国務ト統帥トノ関係	〃	LF/E/3336
		3337	賀屋興宣口述書(全経歴期間中ノ自己ノ言動)	〃	
		3338	賀屋著書「戦時下ノ経済生活」	〃	

立証段階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号	
個	賀屋被	3338A 賀屋著書「戦時下ノ経済生活」抜萃 支那事变ノ中ノ経済力ト戦費負担力	22.10.13 (291)	LF/E/3338A	
		" B 同上抜萃 戦費ノ公債消化ト財政々策	"	LF/E/3338B	
		" C 同上抜萃 女性ト経済政策運行ノ関係	"	LF/E/3338C	
		3339 「日満支経済懇談会報告」 (識別証拠)	"	LF/E/3339	
		" A 同上抜萃 1938.11.29懇談会ニ於ケル賀屋委員長ノ挨拶	22.10.14 (292)	LF/E/3339A	
	人	木戸被	3340 木戸幸一口述書(内大臣秘書,官長,文相,厚相,内大臣ノ全経歴ヲ通ジテノ自己ノ見解,言動)	"	LF/E/3340
			3341 1938.12.12 木戸日記抜萃 近衛ノ辞職説ニ対スル木戸ノ意見	22.10.20 (296)	LF/E/3341
			3342 1938.12 Japan Times and Mails (識別証拠)	22.10.22 (298)	
		告	" A 同上抜萃 1938.2.16 記事(貴族院予算委員会ニ於ケル木戸文相答弁)	"	LF/E/3342A
			3343 作田高太郎口述書	22.10.23 (299)	LF/E/3343
3344 岸道三口述書(1937.12.16 近衛首相ヨリ木戸文相ヘノ伝言, 对支和平交渉ニ対スル陸相ノ意向探究ノ依頼)			"	LF/E/3344	
3345 高木八尺口述書(木戸文相ノ大学ニ対スル態度, 終戦ニ対スル木戸ノ見解)			"	LF/E/3345	
係	木村被	3346 「クレッチマー」口述書(独歎章贈与ニ関スル「オート」電報内容ノ誤指摘)	22.10.24 (300)	LF/E/3346	
		3347 木村兵太郎履歴	"	LF/E/3347	
	告	3348 陸軍省業務取扱規程抜萃 書類取扱ニ関スル一般規則	"	LF/E/3348	
		3349 同上 附表第一陸軍次官ニ委任事項	"	LF/E/3349	

立 段	証 階	書 証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 ニ 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号
人 関 係	個 木	3350	憲兵令抜萃	22.10.24 (300)	LF/E/3350
		3351	沢本頼雄口述書(次官ノ任務,政変ト次官人事ノ無 関係)	〃	
		3352	陸軍々法会議法抜萃	〃	LF/E/3352
		3353	陸軍刑法抜萃	〃	LF/E/3353
		3354	大山文雄口述書(1943年俘虜処罰法改正ノ理由)	〃	LF/E/3354
		3355	仙波 勉口述書(満州工作機械会社ニ俘虜ヲ使用 セル事情)	〃	LF/E/3355
	村 被 告	3356	日笠量平口述書(東部軍ニテ俘虜勞務規定制定ノ 事情)	〃	LF/E/3356
		3357	三木良英口述書(次官ト局長ノ関係, 木村次官ノ 執務振り等)	〃	LF/E/3357
		3358	田中信男口述書(「ビルマ」ノ「カラブン」事件 ト木村軍司令官ノ無関係)	〃	LF/E/3358
		3359	本田政機口述書(「ビルマ」ニ於ケル残虐事件ト 木村軍司令官ノ無関係)	〃	
		3360	一田次郎口述書(「モールメン」事件ト木村軍司 令官ノ無関係)	〃	LF/E/3360
		3361	同 上 (木村軍司令官ノ部下指導ノ状況)	〃	LF/E/3361
		3362	高木秀三口述書(同 上及残虐行為トノ無関係)	〃	LF/E/3362
		3363	山口英治口述書(ビルマ在陸海軍一部々隊ト方面 軍トノ無関係)	〃	LF/E/3363
		3364	川原直一口述書(陸軍省ニ於ケル文書ノ取扱, 次 官ノ任務等)	〃	LF/E/3364
3365	陸軍省業務取扱規程抜萃 附表第1-第10	22.10.27 (301)	LF/E/3365		

立証段階	証陪番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個人関係	木村	3366	1941.10.14波集団参謀長→陸軍次官(海南島ニ於ケル海軍ニヨル仏宣教師殺害ニ関スル件)	22.10.27 (301)	LF/E/3366
		3367	1942, 43年度俘虏收容所訪問ニ関スル情報局綴(識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃	〃	LF/E/3367A
		〃 B	同上抜萃(1942.12.1附)	〃	LF/E/3367B
	被告	3368	柴山兼四郎口述書(陸軍次官ノ地位ト職責)	〃	LF/E/3368
		3369	田中忠勝口述書(木村次官ノ執務振り, 俘虏問題トノ無関係)	〃	LF/E/3369
		3370	1942.4.25支那派遣軍参謀長→陸軍次官(内地空襲後支那ニ不時着セル敵飛行士処分ノ件)	〃	LF/E/3370
検察側立証	日ソ関係	3371	武部六蔵追加口述書(地方長官会議ニ於ケル荒木, 鈴木ノ演説, 関東軍司令官ノ満洲国支配)	〃	LF/E/3371
		3372	村上啓作口述書(総力戦研究所)	22.10.29 (303)	
		3373	書証番号2175号地図「バダルシン」証人ノ種々ノ記号ヲ入レタル複写地図	22.10.30 (304)	
		〃 A	同上複写地図(複写ノ正確性ヲ示ス証明書付)	〃	
		3374	書証番号2175号地図ニハ「バダルシン」証人ガ種々ノ記号ヲ記入セルモノ	22.10.31 (305)	
個人関係	小磯被告	3375	小磯国昭口述書(軍務局長, 陸軍次官, 関東軍参謀長, 拓相, 首相ノ職歴中ノ行動)	〃	LF/E/3375
		3376	書証番号3038B抜萃 1931.7.25 関東軍憲兵司令官→陸軍大臣(関東憲兵隊編成改正ニ関スル意見ノ件上申)	22.11. 3 (306)	LF/E/3376
		3377	同上 1931.1.2.9 三宅関東軍参謀長→陸軍次官(過渡的の制度設立ニ関スル意見具申)	22.11. 4 (307)	LF/E/3377
		3378	1934.8.4 多田少将→菱刈軍司令官「満洲国ノ軍政指導」	〃	

立 証 書 証 年 月 日 (公判日次)	証 階 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 = 提 出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
人 小 磯 被 告 係	3378A	1934.8.4 多田少将→菱刈軍司令官「満洲国ノ軍政指導」抜萃	22.11. 4 (307)	LF/E/3378A
	3379	「昭和7年度陸満密」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1932.1.2.29小磯関東軍参謀長→陸軍次官(満洲国関稅一般方策ニ関スル要綱案)	〃	LF/E/3379A
	3380	「昭和9年度陸満密」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1934.1.2.4小磯関東軍参謀長→陸軍次官(満洲国憲法改正ニ関スル意見具申)	〃	LF/E/3380A
	3381	昭和8年満密大日記 (識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1933.1.2.5陸軍次官→関東軍参謀長(関東軍ハ機密費300万円配布ノ件)	〃	LF/E/3381A
	3382	書証番号3201号抜萃 1940.2.17衆院予算委員会ニ於ケル小磯拓相ノ演説	〃	LF/E/3382
	3383	書証番号3038号抜萃 関東憲兵隊改正ニ関スル意見	22.11. 5 (308)	LF/E/3383
	3384	徳川義親口述書(三月事件ト小磯ノ関係) (識別証拠)	〃	LF/E/3384
	3385	1920~1935年陸軍省官制 (同上)	〃	
	〃 A	同上抜萃 陸軍予算ト軍務局長ノ関係	〃	LF/E/3385A
	3386	日吉武彦口述書(機密費ノ使用状況)	〃	LF/E/3386
	〃 A	同上口述書中ノ文書不存在ノ証明書	〃	LF/E/3386A
	3387	岩畔豪雄口述書(警備局長, 関東軍参謀長トシテノ小磯ノ言動)	〃	LF/E/3387
	3388	北野憲造口述書(張鼓峰事件ト小磯ノ関係)	〃	LF/E/3388

立段	証階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人	小磯被 告	3388A	北野憲造口述書中ノ文書不存在ノ証明書	22.11.5 (308)	LF/E/3388A
		3389	徳川義知口述書(1940.6.20「オット」小磯会談)	〃	LF/E/3389
		3390	田中武雄口述書(拓務大臣, 総理大臣トシテノ小磯ノ言動)	22.11.6 (309)	LF/E/3390
		(3384A)	1947.7.14附IMTFE宛(書証番号158号訂正ニ関スル手紙) (識別証拠)	〃	
		3391	「Piggott」口述書(1939年小磯トノ会見)	〃	LF/E/3391
検察側	ソ 聯 関 係	3392	1947.10.27附「キスレンコ」少将ノ証明書(喜多大将ノ死亡)	〃	LF/E/3392
個人	松井被 告	3393	大杉 浩口述書(南京残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3393
		3394	大内義秀口述書(同上)	〃	LF/E/3394
		3395	脇坂次郎口述書(松井軍司令官ノ部下指導南京残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3395
		3396	西島 剛口述書(同上)	〃	LF/E/3396
		3397	1937.12.18 松井軍司令官ノ部下一般ニ与ヘタル訓示	〃	
		〃 A	同上文書ニ対スル証明書	〃	LF/E/3397A
		3398	中沢三夫口述書(南京残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3398
		3399	飯沼 守口述書(松井軍司令官ノ部下指導, 南京残虐行為ノ否定)	〃	LF/E/3399
		3400	小川関治郎口述書(同上)	22.11.7 (310)	LF/E/3400
		3401	榊原主計口述書(同上及欧州旅行中ノ松井ノ地位)	〃	LF/E/3401

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人	3402	松井軍司令官ノ命ニヨリ金山寺ニ掲ゲラレン制札	22.1.17 (310)	LF/E/3402
	3403	下中弥三郎口述書(大亜細亜協会設立ノ事情及運営, 松井ト協会関係, 松井ノ対中国観)	〃	LF/E/3403
	3404	中谷武世口述書(大亜細亜協会年報中ノ文書ノ確認)	〃	
	3405	1940.10.17附「大亜細亜主義」(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 中谷氏ノ冠頭文……仏印進駐ノ歴史的意義	〃	LF/E/3405A
	3406	1940年発行「大亜細亜協会年報」(識別証拠)	〃	
	〃 A	同上抜萃 1933.1「大亜細亜協会設立趣意書」 「中国大亜細亜協会本部ノ事業概要」	〃	LF/E/3406A
	3407	1933.6「大亜細亜主義」抜萃 松井石根論文「満洲人ノ満洲確立」	〃	LF/E/3407
	3408	1936年 同上 松井石根講演「我等ノ大亜細亜主義」	〃	LF/E/3408
	3409	岡田 尚口述書(上海南京出征中ノ松井ノ部下指導, 対中国人観, 戦争終結ヘノ努力)	〃	LF/E/3409
	3410	松井大将ノ建立セル観音賞祭壇ノ写真	〃	LF/E/3410
	3411	1937.10.8松井軍司令官ノ声明(軍ノ使命及方針)	〃	LF/E/3411
	3412	同上 (支那一般民衆ニ対スル忠告)	〃	
	関係	3413	中村孝太郎口述書(昭和6年頃ノ陸軍装備, 師団長会議ノ訓示, 満洲事変ト南ノ関係)	22.11.10 (311)
〃 A		中村孝太郎死亡証明書	〃	LF/E/3413A 〔診断書〕
3414		昭和6年5月27日軍人俸給削減ニ関スル勅命第103号	〃	LF/E/3414

立段	証階	書証番 号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出 年月日 (公判日次)	請求記号
個 人 被 関 告 係	南 被 関 告 係	3415	十河信二口述書(1931.6.30南陸相ノ満鉄幹部招待ノ事情)	22.11.10 (311)	LF/E/3415
		3416	書証番号3038G抜萃 1931.8.19外山憲兵司令官→南陸相(青年将校ノ時局ニ対スル策動ニ関シ与ヘタル訓示ノ報告)	〃	LF/E/3416
		3417	1947.6.24 I P Sノ証明書(弁護側ノ要求セル文書ノI P Sニナキ事ノ証明)	〃	LF/E/3417
		3418	1947.9.5 G-2証明書(弁護側ノ要求セル文書ノG2ナキ事ノ証明)	〃	LF/E/3418
		3419	1947.9.11ワシントン中央情報部ノ証明書(弁護側ノ要求セル文書ノ一部ハ民事部ニ移シタル事ノ証明)	〃	
		3420	武田 寿口述書(満洲事変後ノ中央ト関東軍往復電報ノ確認)	〃	LF/E/3420
		〃 A	武田証人ノ公職資格ニ関スル一復ノ証明書(満洲事変史編纂委員)	〃	LF/E/3420A
		3421	「1931.9.19~1932.2ノ間ニ於ケル関東軍ノ作戦行動ノ概要」(関東軍司令部作成)(識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃 満洲事変発生ノ状況ト関東軍ノ行動, 中央ノ訓電)	〃	LF/E/3421A 〔証明書〕
		3422	以下ノ電報ノ内容ヲ示ス証明書	〃	LF/E/3422
		〃 A	1931.9.19朝鮮軍司令官→関東軍司令官(中央ノ指示ニヨリ派兵中止ノ通知)	〃	LF/E/3422A
		〃 B	1931.9.20次長→関東軍参謀長(関東軍行動ヲ中央ハ束縛セズ)	〃	LF/E/3422B
		〃 C	1931.9.22大臣→軍司令官(軍政施行不可ノ訓電)	〃	LF/E/3422C
		〃 D	同 上 総長→軍司令官(今後ノ事態ニ対スル関東軍ノ行動指示)	〃	LF/E/3422D
〃 E	同 上 関東軍参謀長→次官次長(満洲事変ト無関係ノ無関係)	〃	LF/E/3422E		
〃 F	1931.9.23総長→軍司令官(ハルビン出兵ハ事態ノ如何ニ拘ラズ行ハズ)	〃	LF/E/3422F		

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	3422G	1931.9.23 次官→関東軍参謀長(閣議ニテハルビン出兵セザルコトニ決定ス)	22.1.1.10(311)	LF/E/3422G
	" H	1931.9.24 大臣→軍司令官(間島ニ事件発生セルモ出兵セズ)	"	LF/E/3422H
	" I	1931.9.25 同上(帝国政府声明ニ基キ行動スベシ)	"	LF/E/3422I
	" J	同上(満洲新政権樹立運動ニ関与スベカラズ)	"	LF/E/3422J
	" K	1931.9.29 次官→関東軍参謀長(軍司令官ガ宣統樹立ニ関係シアリシト閣僚間ノ噂アリ厳ニ注意サレタシ)	"	LF/E/3422K
	" L	1931.11.16 総長→軍司令官(ハルビン方面行動ニ関スル訓電)	"	LF/E/3422L
	" M	1931.11.24 同上(同上ニ関スル詳細ナ指示)	"	LF/E/3422M
	" N	1931.11.27 同上(北支ヘノ独断出兵ノ厳禁)	"	LF/E/3422N
	" O	1932.1.27 軍司令官→大臣総長(ハルビン出兵ノ請訓)	"	LF/E/3422O
	" P	1932.1.28 次長→関東軍(同上承認ノ通知)	"	LF/E/3422P
	3423	1931.9.22 総長→大臣(朝鮮軍ノ満洲出兵ハ命令済ナリ)	"	LF/E/3423
	3424	1931.9.10 "Japan Chronicle" (識別証拠)	"	
	3425	1931.9.24 大臣→橋本少将(満洲ニ至リ中央ト関東軍ノ連絡ニ当ルベシ)	"	LF/E/3425
	3426	国際連盟ノ日支事変ニ関スル文書(識別証拠)	"	
3427	「リットン」報告ニ関スル帝国政府意見書抜萃(同上)	"		
3428	1931.10.1 次官→関東軍参謀長(長春ニ市政施行不可ノ警告)	"	LF/E/3428	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号		
個人	南	3429	1931.11.11 次官→関東軍参謀長(土肥原ノ天津派兵理由如何)	22.11.10 (311)	LF/E/3429	
		3430	片倉 衷口述書(関東軍中央間ノ電報ノ確認)	〃	LF/E/3430	
		3431	児玉友雄口述書(朝鮮軍越境事件ノ経緯)	〃	LF/E/3431	
		3432	弊原喜重郎病氣ニ関スル診断書	〃		
	被	3433	「バトリック・J・ハーレー」口述書(1931.10 南陸相トノ会見事実ノ確認)	〃	LF/E/3433	
		3434	河辺虎四郎口述書(書証番号 3422A~Pノ確認, 南軍司令官ノ方針等)	〃	LF/E/3434	
		3435	大野緑一郎口述書(南朝鮮総督ト俘虏取扱トノ無関係)	22.11.12 (312)	LF/E/3435	
	告	3436	御手洗辰雄口述書(大日本政治会ト南トノ関係)	〃	LF/E/3436	
		3437	村田八千穂口述書(議定官南ノ叙勲ノ説明)	〃	LF/E/3437	
		3438	「ピゴット」少将口述書(日英関係改善ニ対スル武藤ノ態度)	〃	LF/E/3438	
	関係	武藤	3439	西浦 進口述書(軍務局長ノ職務権限)	〃	LF/E/3439
			3440	1940.3.19 議会ニ於ケル武藤ノ答弁	〃	LF/E/3440
			3441	「ジェイムス・エドワード・ウォルシュ」司教口述書(日米交渉ニ対スル武藤ノ態度)	〃	LF/E/3441
		被	〃 A	同上中ニ言及ノ武藤ノ与ヘシ護照ノ写真	〃	LF/E/3441A
3442			岩畔豪雄口述書(日米交渉ニ対スル武藤ノ態度)	〃	LF/E/3442	
3443			1941.6.2 武藤軍務局長→岩畔大佐(日米交渉ノ現状報告ノ要求)	〃		

立段	証階	書証番号	書証名 (内容要旨)	法廷ニ提出年月日 (公判日次)	請求記号
個	武	3444	山本熊一口述書(連絡会議ノ幹事ノ職務, 日米交渉ニ対スル武藤ノ態度)	22.1.1.12 (312)	LF/E/3444
		3445	1941.1.1.18 武藤軍務局長→山本アメリカ局長 (日米交渉今後ニ対スル腹案)	22.1.1.13 (313)	
		3446	真珠湾報告書中近衛手記抜萃 1941.1.1.14 武藤→富田 (戦争ニ対スル海軍ノ真意打診ノ依頼)	〃	LF/E/3446
		3447	三木良英口述書(局長会報ニ於ケル武藤ノ言動, 中田証言ノ反駁)	〃	LF/E/3447
		3448	陸軍武官服務令施行規則	〃	LF/E/3448
		3449	陸軍将校分限令	〃	LF/E/3449
		3450	大平秀雄口述書(スマトラニ於ケル俘虜取扱ト武藤ノ関係)	〃	LF/E/3450
		3451	久米川好春口述書(マニラ残虐事件ト武藤ノ関係)	〃	LF/E/3451
		3452	「マーシャル」元帥報告書抜萃(比島作戦ニ於ケル日本軍ノ敗北)	〃	LF/E/3452
		3453	同上	〃	LF/E/3453
関	被	3454	武藤 章口述書(自己ノ全職歴中ニ於ケル見解, 言動等 田中隆吉証言ノ反駁)	〃	LF/E/3454
		3455	1940.1.1.13 御前会議記録 (識別証拠)	22.1.1.14 (314)	LF/E/3455
		3456	1941.9.6 附「日支和平解決基礎条件」	〃	LF/E/3456
		3457	1938.1.0.3.1 五相会議決定事項 (識別証拠)	〃	LF/E/3457
		3458	1941.8.9 日米交渉 第1巻 (同上)	〃	
		3459	1942.2.2.7 興亜院総務長官→陸軍次官(興亜院連絡部長官会議ニ陸軍省員派遣ノ件)	〃	LF/E/3459
		係	告		

立証 段階	証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号		
個 人 関 係	武	3460	二大日記 (識別証拠)	22.11.14 (314)		
		〃 A	同上抜萃 1941.6頃ノ台湾航空作戦準備ニ関スル往復電報	〃	LF/E/3460A	
	藤	3461	武藤口述書中ニ言及ノ文書不存在ニ関スル証明書	22.11.17 (315)	LF/E/3461	
		3462	戦時高等司令部勤務令抜萃	〃	LF/E/3462	
	被	3463	衆議院選挙法抜萃	〃	LF/E/3463	
		3464	陸軍刑法抜萃	〃	LF/E/3464	
	告	3465	陸海軍人ニ賜リタル勅諭抜萃	〃	LF/E/3465	
		3466	文書不存在ニ関スル証明書	〃	LF/E/3466	
	岡	岡	3467	富田健治口述書(日米交渉ニ対スル岡軍務局長ノ態度, 首相一任問題)	〃	LF/E/3467
			3468	保科善四郎口述書(岡軍務局長ノ職務権限, 日米交渉ニ対スル態度)	〃	LF/E/3468
			3469	柴勝雄口述書(日米交渉ニ対スル岡軍務局長ノ態度)	〃	LF/E/3469
		被	3470	及川古志郎口述書(同 上)	22.11.18 (316)	LF/E/3470
			3471	野村直邦口述書(東条内閣末期ニ於ケル米内大将入閣工作ノ際ノ岡ノ役割)	〃	LF/E/3471
			3472	高田利種口述書(日米交渉ニ対スル岡軍務局長ノ態度)	〃	LF/E/3472
3473			岡敬純口述書(軍務局長トシテノ言動, 海軍々備, ソノ他)	〃	LF/E/3473	
告	3474	1938.8.31 岡・影佐会谈記録(広東攻略作戦ニ関スルモノ) (識別証拠)	22.11.19 (317)	LF/E/3474		

立証 段階	証 階	書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
個 人 関 係	岡 被 告	3475	1941.3 朝日新聞縮刷版 (識別証拠)	22.11.19 (317)	
		" A	1941.3.26 附記事抜萃 岡, 武藤, 大政翼賛会改 組案作成中 (同上)	"	LF/E/3475A
		" B	1941.3.28 附記事抜萃 同上改組案ヲ富田書記官 長ニ提出 (同上)	"	LF/E/3475B
		3476	1941.8.30 東京日々新聞記事(岡, 武藤監時間議 ニ出席) (同上)	"	LF/E/3476
		3477	10.4.31.1.30 海軍々務局長→陸軍々務局長(38名 ノ俘虜ヲ大船仮収容所ヨリ陸軍ニ引渡ス件)(同上)	"	LF/E/3477
		3478	1942.10.19 海軍々務局長→陸軍俘虜管理部長 (1,000名ノ俘虜ヲマカッサルヨリ内地ニ送還ノ 件) (同上)	"	LF/E/3478
	南 被 告	3479	幣原喜重郎出張訪問調書	"	
		" A	幣原喜重郎口述書(満洲事変拡大防止ニ対スル南陸 相ノ努力)	22.11.20 (318)	LF/E/3479A
		" B	1931.9.21 林奉天総領事→幣原外相(奉天ニ市政 ヲヒキタル事ノ報告)	"	LF/E/3479B
		" C	1931.9.28 同 上 (奉天治安維持会ノ設立)	"	LF/E/3479C
		" D	1931.10.3 同 上 (奉天自治委員会設立ノ 事実無根)	"	LF/E/3479D
		" E	1931.10.6 同 上 (市民委員会ノ独立運動 ト土肥原ノ関係)	"	LF/E/3479E
		" F	1931.10.16 同 上 (市政府役人ヲ支那人ニ オキカエル関東軍ノ方針)	"	LF/E/3479F
" G		1931.10.19 同 上 (土肥原ノススメヨリ 趙欣伯市長就任ヲ受諾)	"	LF/E/3479G	
" H		1931.10.27 同 上 (宣統帝天津連出シニ 関スル土肥原ノ活躍)	"	LF/E/3479H	
" I	1931.10.28 同 上 (県自治指導委員会設 立ノ件)	"	LF/E/3479I		

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号	
個人	南被告 3479J	1931.11.7 林奉天総領事→幣原外相(関東軍ノ表令凱へノ圧迫)	22.11.20 (318)	LF/E/3479J	
	武被藤告 3480	石井秋穂口述書(支那事変ノ解決, 三国同盟, 日米交渉ニ対スル武藤ノ態度)	22.11.21 (319)	LF/E/3480	
	大	3481	防共協定ニ関スル東京・ベルリン往復電報不存在ノ証明書(外務省)	〃	LF/E/3481
		3482	防共協定強化(同上)	〃	LF/E/3482
		3483	三国同盟(同上)	〃	LF/E/3483
		3484	伊藤使節持参訓令ノ不存在証明書(同上)	〃	LF/E/3484
	島	3485	大島大使ノ辞任, 日本ノ独ノ戦参加拒否, 電報不存在ノ証明書(同上)	〃	LF/E/3485
		3486	一復文書課長証明書(1935年日独協定交渉関係文書不存在)	〃	LF/E/3486
		3487	同上(支那事変関係参本大島武官無電報ノ不存在)	〃	LF/E/3487
		〃 A	同上(対ソ関係, 三国同盟関係, 電報ノ不在)	〃	LF/E/3487A
	被	〃 B	同上(笠原少将ノ持参セル軍事同盟ニ関スル独提案及之ニ関スル東京・ベルリン往復電報存在)	〃	LF/E/3487B
		3488	二復文書課長証明書(在独海軍武官ト海軍省軍令部間電報ノ不存在)	〃	LF/E/3488
		3489	間片英彦口述書(独大使館ニオケル機密文書ノ焼却)	〃	LF/E/3489
		係告	3490	西久口述書(在独陸軍武官室ニオケル機密文書ノ焼却)	〃
	3491		溪口泰磨証明書(在独海軍武官室ニオケル機密文書ノ焼却)	〃	LF/E/3491
3492	若松只一口述書(防共協定ニ対スル日独ノ見解ト大島関係)		〃	LF/E/3492	

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号	
個	大島被告	3493	笠原幸雄口述書(第一次軍事同盟ニ対スル日本政府ノ態度)	22.11.21(319)	LF/E/3493
		3494	宇佐美珍彦口述書(第一次軍事同盟交渉経緯ト大島ノ態度)	〃	LF/E/3494
		3495	河辺虎四郎口述書(満洲事変ト大島ノ無関係)	〃	LF/E/3495
		3496	同上(対ソ謀略第一次軍事同盟ト大島ノ関係)	〃	LF/E/3496
		3497	河辺虎四郎訊問調書	22.11.24(320)	
人	松井被告	3498	松井石根口述書(南京事件, 欧州武官会議大アジア協会トノ関係等)	〃	LF/E/3498
		3499	1941.1 附「大亜細亞主義」(識別証拠)	22.11.25(321)	
		〃 A	同上抜萃 松井石根論文「興亞諸団体ノ統合トソノ飛躍ヲ提唱ス」	〃	LF/E/3499A
		3500	1941.7 附「大亜細亞主義」(識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃 松井石根論文「事変処理ト対米問題」	〃	LF/E/3500A
係	大島被告	3501	高橋通俊口述書(大島「ヒトラー」会談ノ否定)	〃	LF/E/3501
		3502	杉浦 宏口述書(同上)	〃	LF/E/3502
		3503	「オット」訊問調書中直接訊問ノ部分(検事側書証若干ニ対スル説明)	〃	LF/E/3503
		〃 A	同上中反対訊問ノ部分	〃	LF/E/3503A
		3504	田中新一口述書(昭和16年度作戦計画ト大島トノ無関係)	〃	LF/E/3504
		3505	小松光彦口述書(軍事委員会ノ機能シンガポール攻撃ト大島問題, 日米開戦関係)	〃	LF/E/3505

立証段階	証階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	大島	3506	辰巳米一口述書(大使ト武官ノ関係)	22.1.25 (321)	LF/E/3506
		3507	横井忠雄口述書(独潜水艦寄贈, 撃沈商船乗組員殲滅戦法ト大島ノ関係)	〃	LF/E/3507
		3508	大島 浩口述書(日独関係全般ト大島トノ関係)	〃	LF/E/3508
		3509	美山要蔵証明書(大使館附武官ハ参謀総長ノ隷下ニアリ)	〃	LF/E/3509
		3510	官吏服務規律	22.1.26 (322)	LF/E/3510
		3511	野原駒吉ガ外務正式職員ナラザル事ノ証明書	〃	LF/E/3511
		3512	大島被告訊問調書抜萃(单独不媾和協定交渉ノ経緯)	〃	LF/E/3512
		3513	大島被告陳述書(独潜水艦讓渡, 撃沈商船乗員殺傷戦法トノ関係)	〃	LF/E/3513
		3514	1938.8下旬 陸軍中央部→大島駐独武官電(独側提案ニ対スルニ相会談決定ニ基ク修正案)	22.1.28 (323)	LF/E/3514
		3515	同上(同上修正案ニ対スル説明)	〃	LF/E/3515
		3516	1940.1「文芸春秋」(識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃 大島浩論文「独逸外交ノ理念」	〃	LF/E/3516A
		3517	1940.11「大アジャ主義」(識別証拠)	〃	
		〃 A	同上抜萃 大島浩論文「三国同盟ト米国」	〃	LF/E/3517A
		関係	被告	3518	1941.5.4 大島大使→松岡外相電(松岡外相ノ渡米説ニ対スル真相ノ通知要求)
3519	1941 松岡外相→大島大使電(上記ニ対スル返電, 渡米ノ意志ナン)			〃	LF/E/3519

立証 段階	書証 番号	書証名(内容要旨)	法廷提出 年月日 (公判日次)	請求記号
個 人	3520	日独経済協定ニ対スル附属 秘密議定書	22.12. 1 (324)	LF/E/3520
	3521	1941.2.17 松岡外相→大島大使(泰仏印 国境紛争 居中調停案ヲ仏ガ受諾スル様独ヨリ仏ヲ圧迫スル様 交渉セヨ)	22.12. 2 (325)	LF/E/3521
	3522	1941.9 東京日日縮刷版 (識別証拠)	〃	
	3523	1938.9.16 字垣外相→近衛首相(大島ヲ駐独大使 ニ就任方ノ件)	〃	LF/E/3523
	〃 A	1938.9.22 近衛首相→字垣外相(上記ニ対スル回 答, 内奏御免許ヲ仰ギタリ)	〃	LF/E/3523A
	〃 B	1938.10.6 近衛外相→板垣陸相(大島ヲ駐独大使 ニ御親任方ニ付照会ノ件)	〃	LF/E/3523B
	〃 C	1938.10.7 板垣陸相→近衛外相(上記ニ対スル返 電, 異存ナシ)	〃	LF/E/3523C
	3524	1946.3.30 ニュルンベルグ裁判記録(「リップ ントロップ」ノ証言)	〃	LF/E/3524
	(3503B)	「オット」大使訊問調書中再訊問ノ部分	22.12. 3 (326)	LF/E/3503B
関 係	3525	吉江誠一口述書(陸軍ノ人事行政, 佐藤ノ軍務局 長課長就任ノ事情)	〃	LF/E/3525
	3526	阿部信行訊問書(東条ノ首相任命ニ当リ佐藤ガ策 動セリトノ田中証言ノ反駁)	〃	LF/E/3526
	3527	二宮義清口述書(陸軍ニ於ケル俘虜取扱ニ関スル抗 議文ノ取扱ヒ)	〃	LF/E/3527
	3528	1942.3.25 外務省ニ対スル回答文ノ草案(スイス 代表ノ訪問ニ関スルモノ)	〃	LF/E/3528
	3529	1942.6.23 外務次官→俘虜情報局長官(赤十字代 表ノ俘虜収容所訪問ニ関スル件)	〃	LF/E/3529
	3530	大槻 章口述書(「ドウリットル」飛行士処刑ニ関 スル田中証言ノ反駁)	〃	LF/E/3530
	3531	松村秀逸口述書(陸軍新聞報道ノ要領)	〃	LF/E/3531

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人関係	3532	佐藤被告訊問調書抜萃	22.12. 3 (326)	
	3533	原 四郎口述書 (「対米英開戦名目骨子案」ノ説明)	〃	LF/E/3533
	3534	倉本敬次郎口述書 (佐藤ノ支那事変ノ叙勲ト仏印進駐トノ無関係)	〃	LF/E/3534
	3535	中村明人口述書 (泰ニ於ケル俘虜ノ取扱ト佐藤トノ無関係)	〃	LF/E/3535
	3536	1931.8.26 重光公使→幣原外相電 (宗子文ノ満洲旅行ニ関スル件)	〃	LF/E/3536
	3537	1931.8.25 同 上	〃	LF/E/3537
	3538	1931.9.11 同 上	〃	LF/E/3538
	3539	1931.9.13 同 上	〃	LF/E/3539
	3540	守屋和郎口述書 (満洲事変, 上海事変ノ解決ニ対スル重光公使ノ努力)	22.12. 4 (327)	LF/E/3540
	3541	外務省文書課長証明書 (上海停戦協定ニ関スル文書ノ不存在)	〃	LF/E/3541
	3542	1932.4.30, 5,6 附「ノース・チャイナ・デイリー・ニュース」記事 (停戦協定ニ対スル重光ノ努力)	〃	LF/E/3542
	3543	「キラーン」英国公使口述書 (上海停戦協定ニ対スル重光ノ努力)	〃	
	3544	「ジョンソン」米国公使口述書 (同 上)	〃	LF/E/3544
	3545	1936年中国尚務院書館発行「中外条約彙編」 (識別証拠)	〃	
	〃 A	中国外交部ノ証明書 (暉春条約中国語原文ノ入手不能ニ関スルモノ)	〃	LF/E/3545A
	〃 B	書証番号3545号抜萃 暉春条約原文ノ写	〃	LF/E/3545B

立証 段階	証 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法廷ニ提出 年 月 日 (公判日次)	請 求 記 号
個 人 関 係	重 光	3545C 附査勘両国交界第一段道路記	22.12. 4 (327)	LF/E/3545C
		3546 「ジョージ・E・デイヴィス」陳述書(重光駐ソ大使ノ態度言動)	〃	LF/E/3546
		3547 「ハンキー」郷陳述書(重光駐英大使ノ日英関係改善ニ対スル態度)	〃	LF/E/3547
		3548 「ピゴット」少将陳述書(同 上)	〃	LF/E/3548
		3549 「セムビル」郷陳述書(同 上)	〃	LF/E/3549
		3550 「バトラー」英外務次官(同 上)	〃	LF/E/3550
		3551 「ケネディ」駐英米国外使口述書(同 上)	〃	LF/E/3551
		3552 「H・A・グウィン」口述書(重光ノ対支態度)	〃	LF/E/3552
	被 告	3553 1942~1943年英国下院ニ於ケル秘密演説集 (識別証拠)	〃	
		3554 豊田貞次郎口述書(重光ノ帰朝報告)	〃	LF/E/3554
		3555 「クレイギー」大使ニ対スル質問書(重光ノ日英関係改善ニ対スル努力)	〃	LF/E/3555
		3556 1944.8.30 岡本スウェーデン公使→重光外相電(「ドゴール」政権日本トノ戦争状態ヲ宣言セル事ノ報告)	〃	LF/E/3556
		3557 1944.9.15 最高戦争指導会議記録(対ソ外交問題)	〃	LF/E/3557
	係	3558 「ウイター・バッグ」スウェーデン公使陳述書(終戦ニ対スル重光ノ努力)	〃	LF/E/3558
		〃 A 外務省文書課長証明書(文書ノ不存在)	〃	LF/E/3558A
鳴被 田告	3559 及川古志郎口述書(嶋田大将海相就任ノ経緯)	〃	LF/E/3559	

立証段階	証階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	嶋田	3560	1941.9.16朝日新聞記事(嶋田大将支那ヨリ帰還参内ニ関スルモノ)	22.12. 4 (327)	LF/E/3560
		3561	沢本頼雄口述書(嶋田大将ノ日米戦ニ対スル態度、海相就任後ノ日米交渉ニ対スル態度、海相ト俘虜取扱ニ対スル抗議ノ関係)	22.12. 5 (328)	LF/E/3561
		3562	富岡定俊口述書(嶋田海相ノ真珠湾攻撃計画ヲ知りタル時機大本営ト嶋田トノ関係)	〃	LF/E/3562
		3563	新島信夫口述書(防共協定ニヨル嶋田大将ノ行賞ノ事情)	〃	LF/E/3563
		3564	三戸 寿口述書(1943.3.20附機密ISS命令ニ関スル説明)	〃	LF/E/3564
		3565	嶋田繁太郎口述書(海軍大臣就任ノ経緯、日米交渉ニ対スル態度、真珠湾攻撃、対米通告問題、俘虜取扱ノ抗議ニ関スル説明、其ノ他)	〃	LF/E/3565
		3566	1941.4.16アメリカ局第一課作成「ABD包囲陣ニ関スル情報」	〃	LF/E/3566
		3567	1941.7外務省作成「南太平洋ニオケル米英ノトル包囲政策」	〃	LF/E/3567
		3568	1945.10.18附東久遡首相官ヨリ GHQ宛報告(識別証拠)	22.12. 8 (329)	
		3569	1941.9.16大阪毎日新聞(嶋田大将会見記)	〃	LF/E/3569
		3570	1942.7.7東京毎日新聞(支那事変五週年記念ニ当リテノ嶋田海相ノ談話)	〃	LF/E/3570
		3571	昭和19年後期大海指綴	〃	
		〃 A	同上抜萃 嶋田総長ヨリ豊田GF長官宛指示(印度洋ニオケル潜水艦作戦ノ強化)(識別証拠)	〃	
		関係	被告	3572	1943.1.21~1944.5.31ノ間ニオケル第八潜水艦隊ノ定期功績概見数
3573	嶋田被告訊問調書(真珠湾攻撃ヲ知りタル時機)			22.12. 9 (330)	LF/E/3573
3574	俘虜給養規則(改正)			〃	LF/E/3574

立 段	証 階	書 番 号	書 証 名 (内 容 要 旨)	法 廷 ニ 提 出 年 月 日 (公 判 日 次)	請 求 記 号		
人	個	嶋被 田告	3574A 俘虜給養規則改正ニ対スル二復文書課長証明書	22.12. 9 (330)	LF/E/3574A		
			3575 白鳥敏夫履歴書	〃	LF/E/3575		
	白		3576 外務省官制	〃	LF/E/3576		
			3577 矢次一夫口述書(書証番号774Aニ関スル説明)	〃	LF/E/3577		
			3578 外務省官房人事課長証明書(有田八郎氏ノ経歴ニ関スル件)	〃	LF/E/3578		
			3579 「オット」大使訪問調書(白鳥トノ関係, 検事側書証ニ関スル説明)	〃	LF/E/3579		
		鳥		3580 宇垣一成口述書(白鳥ノ駐伊大使任命ノ事情)	〃	LF/E/3580	
				3581 1939.1.10 白鳥大使→有田外相電(親任状奉呈ノ報告)	〃	LF/E/3581	
				3582 1939.1.15 白鳥大使→有田外相機密公信(御親任状奉呈ニ関シ報告ノ件)	〃		
				3583 「チアノ」日記抜萃 1939年初ニオケル軍事同盟ト伊ノ関係	〃	LF/E/3583	
		関	被	〃 A	同上ニ対スル証明書	〃	LF/E/3583A
					3584 1939.1.3 附「マッケンゼン」駐伊独大使覚書(伊ノ軍事同盟参加)	〃	LF/E/3584
			3585 チアノ日記抜萃 (「ムツリニ」独伊同盟ノ希望)	〃	LF/E/3585		
	告			3586 外務省文書課長証明書(三国同盟ニ関スル白鳥ヨリノ電報不存在)	〃	LF/E/3586	
			3587 永井三樹三口述書(三国軍事同盟ニ対スル白鳥駐伊大使ノ態度)	22.12.10 (331)	LF/E/3587		
			3588 斎藤良衛口述書(白鳥ノ外交顧問トシテノ活動)	〃	LF/E/3588		

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人関係	3589	齋藤良衛第二口述書 (三国同盟条約ノ案文起草ト白鳥トノ無関係)	22.12.10 (331)	LF/E/3589
	3590	宇野満寿子口述書 (白鳥ノ論文ニ関スル説明)	〃	LF/E/3590
	3591	日本外事協会々計帳簿 (識別証拠)	〃	LF/E/3591
	3592	三島康夫口述書 (白鳥ノ論文ノ性質1941.3以降ノ白鳥ノ病氣等)	〃	LF/E/3592
	3593	村松常雄口述書 (1941.4白鳥ノ病氣診断ニ関スル事項)	〃	LF/E/3593
	3594	有馬頼寧口述書 (白鳥ノ大政翼賛会総務トシテ活動セザリシ事ノ立証)	〃	LF/E/3594
	3595	白鳥敏夫口述書 (外務省情報部長駐伊大使, 外務省顧問等トシテ行動, 見解等)	〃	LF/E/3595
	3596	白鳥敏夫論文集 「戦ヒノ時代」 (識別証拠)	22.12.11 (332)	
	〃 A	同上抜萃 全体主義ト人民戦線	〃	LF/E/3596A
	〃 B	同上抜萃 大陸政策ノ世界史的意義	〃	LF/E/3596B
	3597	ラジオ講演講座 (識別証拠)	〃	LF/E/3597
	〃 A	同上抜萃 1941.3.9 白鳥ノ放送「内外時局ヲ語る」	〃	LF/E/3597A
	3598	書証番号3596号抜萃 世界戦争ト新世界	〃	LF/E/3598
	3599	同上	〃	LF/E/3599
	3600	国際聯盟文書抜萃 「リットン」報告ニ対スル日本政府ノ回答 (識別証拠)	22.12.12 (333)	
	鈴木木告	3601	井上三郎口述書 (鈴木ト近衛, 木戸, 原田等トノ関係, 三月事件ト鈴木ノ関係)	〃

立段	証階	書証番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	鈴木	3602	亀山孝一口述書(企画院ト俘虏取扱ノ無関係)	22.12.12 (333)	LF/E/3602
		3603	統制令=関スル文書原本	〃	LF/E/3603
		〃 A	同上中ノ一文書	〃	LF/E/3603A
		〃 B	同上	〃	LF/E/3603B
	鈴木	3604	東久邇稔彦口述書(第三次近衛内閣末期ニオケル鈴木ノ行動)	〃	LF/E/3604
		3605	鈴木貞一口述書(企画院トシテノ行動, 日記ノ国際観, 人生観, 政治観)	〃	LF/E/3605
		3606	胡 霖口述書(鈴木ノ対中国観)	〃	LF/E/3606
		3607	外務省保管文書 昭和7.8~8.9「对支方針参考資料」(識別証拠)	〃	
	鈴木	〃 A	同上抜萃 1933.7.12 鈴木中佐ヨリ外務省森島課長宛手交文書「北支対策要綱」(鈴木中佐, 北支視察報告ト称スルモノ)	〃	LF/E/3607A
		3608	外務省保管「汪兆銘関係書類」(識別証拠)	22.12.15 (334)	
		〃 A	同上抜萃 1939.6.29 鈴木興亜院政務部長→栗原外務省政治局長(呉工作=関聯スル資金ノ件)	〃	LF/E/3608A
		東郷	3609	有田八郎口述書(1933.4 東郷欧米局長ノ内田外相ニ提出セル文書ノ確認)	〃
〃 A	1933.4 東郷欧米局長ヨリ内田外相ニ提出セル意見書「国際聯盟脱退後ニオケル帝国ノ対欧米外交方針」		22.12.16 (335)	LF/E/3609A	
3610	文書不存在=関スル外務省文書課長証明書		〃	LF/E/3610	
3611	野口芳雄口述書(東郷ノ対ソ観, 日「ソ」国交調整ニ対スル努力)		〃	LF/E/3611	
3612	外務大臣官房人事課長証明書(東郷ノ履歴)		〃	LF/E/3612	

立証段階	証番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号	
個人	東郷	3613	外務大臣官房人事課長証明書 (東郷ノ後任ニ建川ガ駐「ソ」大使ニ任命サレシ事)	22.1.2.16 (335)	LF/E/3613
		3614	成田勝四郎口述書 (東郷ノ欧米局長, 駐独大使トシテノ防共協定, 三国同盟ニ対スル反対)	〃	LF/E/3614
		〃 A	1938.12.6 成田→東郷駐「ソ」大使私信 (東郷ト大島ノ更迭ニ関スル内情)	〃	LF/E/3614A
		3615	山路 章口述書 (東郷欧米局長ノ防共協定反対ノ態度)	〃	LF/E/3615
		3616	外務大臣官房人事課長証明書 (日独伊防共協定交渉当時東郷ノ満洲国出張中ナリシ事ヲ示ス)	〃	LF/E/3616
		3617	亀山一二口述書 (東郷ノ日「ソ」交渉ニ対スル態度)	〃	LF/E/3617
		3618	笠原幸雄口述書 (東郷ノ三国軍事同盟ニ対スル反対ノ態度)	〃	LF/E/3618
	被関係	3619	首藤要人口述書 (東郷ノ三国軍事同盟反対ノ態度, 駐独海軍武官ノ東郷大使排斥運動, 日独経済交渉ト東郷大使トノ関係)	〃	LF/E/3619
		3620	昌谷 忠口述書 (東郷ノ三国軍事同盟反対ノ態度, 東郷外相ノ終戦ニ対スル努力)	〃	LF/E/3620
		3621	伊藤述史口述書 (東郷駐「ソ」大使ノ軍事同盟反対ノ意見)	〃	LF/E/3621
		3622	「クルト・マイスナ」口述書 (東郷ノ防共協定反対, 東条内閣外相就任ノ事情)	〃	LF/E/3622
		3623	松本俊一口述書 (防共協定ニヨル東郷ノ行賞ノ事情, 防共協定ノ延長ト秘密協定ノ廃止, 「ボ」宣言受諾当時ノ情况)	〃	LF/E/3623
		3624	森島守人口述書 (国際情勢ニ対スル東郷ノ見解, 日英交渉ニ対スル努力)	〃	LF/E/3624
		3625	井上孝治郎口述書 (軍縮問題ニ対スル東郷ノ態度ノ見解)	〃	LF/E/3625
係	3626	門脇季光口述書 (東郷ノ松岡政策批判, 外相就任後ノ省内肅正)	22.12.17 (336)	LF/E/3626	
	3627	富吉栄二口述書 (東郷ノ三国同盟反対, 来栖派遣問題外相就任事情, 大東亜省問題)	〃	LF/E/3627	

立証段階	証書番号	証書名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	3628	田中隆吉口述書(東郷ノ「ソ」満国境制定ニ対スル努力, 東条内閣入閣事情, 開戦反対論, 通告問題, 大東亜省問題)	22.12.17 (336)	LF/E/3628
	3629	佐藤尚武口述書(寿府会議ト東郷ノ関係, 日米戦回避ニ対スル東郷ノ態度)	〃	LF/E/3629
	3630	外務大臣官房人事課長証明書(松岡ガ1932.10聯盟ニ出発セル事ノ立証)	〃	LF/E/3630
	(687B)	687号抜萃 大東亜省設置ニ関スル枢密院審査委員会記録	〃	
	3631	島津久大口述書(1941.12.8協力会議ニオケル演説ノ件, 「ルースベルト」親電取扱ヒノ件)	〃	LF/E/3631
	3632	山本熊一口述書(最後通牒ニ関スル岡証言ノ反駁)	〃	LF/E/3632
	3633	田辺盛武口述書(最後通牒手交時機変更ノ経緯)	〃	LF/E/3633
	3634	書証番号1270号抜萃 大東亜戦争関係国際法問題論叢ノ序分	〃	LF/E/3634
	3635	湯沢三千男口述書(大東亜省設置ニ対スル東郷ノ反対ノ態度)	〃	LF/E/3635
	3636	1945.4.23大東亜大使会議共同声明	〃	LF/E/3636
	3637	1907.1.31公式令	〃	LF/E/3637
	3638	1914年発布 俘虜情報局官制	〃	LF/E/3638
	関係	(92A)	1941.1.2 制定 俘虜情報局設置ニ関スル勅令	〃
3639		太田三郎口述書(開戦後ノ在留人交換ニ対スル東郷外相ノ努力)	〃	LF/E/3639
3640		鈴木貫太郎大将ノ出廷不能ノ診断書	〃	LF/E/3640
〃 A		鈴木貫太郎口述書(東郷ノ鈴木内閣入閣事情ト終戦ニ対スル努力)	〃	LF/E/3640A

立証段階	証書番号	証書名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号		
個人	東郷	3641	松平康昌口述書(東郷ヲ鈴木内閣ニ入閣懇願ノ事情)	22.12.17 (336)	LF/E/3641	
		3642	迫水久常口述書(東郷ノ鈴木内閣入閣事情, 終戦ニ対スル努力)	〃	LF/E/3642	
		3643	1933.2.21 朝日新聞抜萃 国際聯盟脱退ニ関スル内田外相ヨリ松岡代表宛訓令ニ関スルモノ	〃	LF/E/3643	
		3644	大蔵公望口述書(国策研究会ノ性質ト本郷ノ関係)	〃	LF/E/3644	
		3645	1903.12 勅令 「軍事参議院設置ニ関スル件」	〃	LF/E/3645	
	被関係	郷	3646	東郷茂徳口述書(自己ノ全経歴ニ於ケル見解, 行動等)	〃	LF/E/3646
			3647	外務省作成「ルーズベルト」親電ニ関スル経緯	22.12.22 (339)	LF/E/3647
			3648	1933.4.16「カラハン」→太田駐「ソ」大使(東支鉄道ニ関聯スル抗議)	〃	LF/E/3648
			3649	1933.5.2「リトヴィノフ」→太田駐「ソ」大使(同上)	〃	LF/E/3649
			3650	1934.8.22 駐日「ソ」聯大使→広田外相(同上)(識別証拠)	〃	LF/E/3650
		告	3651	1933.7.3 東支鉄道譲渡ニ関シ「ソ」聯代表ノ提出セル覚書(同上)	〃	LF/E/3651
			3652	1940.6.9 東郷・モロトフ協定附属地図ノ写真板	22.12.23 (340)	LF/E/3652 [証明書]
			3653	岡被告訊問調書抜萃	22.12.26 (342)	
			3654	1939.9.5 附 Le Temps (識別証拠)	〃	
			〃 A	同上抜萃	〃	LF/E/3654A
東被条告	3655	東条英機口述書	〃	LF/E/3655		

立証段階	証番号	書証名（内容要旨）	法廷提出年月日（公判日次）	請求記号	
個人	東	3656	1940.1.11.3 御前会議決定「支那事変処理要綱」	22.12.29 (343)	LF/E/3656
		3657	1941.2.3 連絡会議決定「対独伊ノ交渉案要綱」	〃	LF/E/3657
		3658	1941.2.1 同上「対仏印泰施策要綱」	〃	LF/E/3658
		3659	1941.7.1.5 近衛首相→ベタン主席書翰（仏印進駐ノ目的ト仏印ニ於ケル仏ノ領土及主權ノ尊重ノ保証）	〃	LF/E/3659
		3660	大本営，陸海軍省，外務省，其他新聞等ヨリ得タル情報ノ蒐録	〃	LF/E/3660
		3661	一復文書課長証明書（1941.1.1.5 御前会議決定文書ノ不存在）	〃	LF/E/3661
		3662	同上（1941.1.1.15 附「対英未作戦計画大綱」ノ不存在）	〃	LF/E/3662
		3663	1941.1.1.17 東条首相ノ議会演説	〃	
		3664	1941.1.1.18 衆議院ニ於ケル政府鞭撻ノ決議	〃	
	関係	被	3665	貴族院速記録綴（識別証拠）	〃
		〃 A	同上抜萃 1941.1.1.18 貴族院ニ於ケル政府鞭撻ノ決議	〃	LF/E/3665A
		3666	一復文書課長証明書（1941.1.1.22 連絡会議決定文書ノ不存在）	〃	LF/E/3666
		3667	同上（大本営編制大本営勤務令ノ不存在）	22.12.30 (344)	LF/E/3667
係告		3668	同上（1941.1.2.1 大陸令（開戦準備行動ノ指示）ノ不存在）	〃	LF/E/3668
		3669	1941.1.2.1.6 附官報号外衆議院議事速記録（識別証拠）	〃	
		〃 A	同上抜萃 木村陸軍次官ノ演説	〃	

立証段階	証番号	書証名(内容要旨)	法廷ニ提出年月日(公判日次)	請求記号
個人	3670	1944.4.28 帝国政府→米国政府(PW取扱ノ抗議ニ対スル回答)	22.12.30(344)	LF/E/3670
	3671	大東亜会議ニ於ケル汪兆銘ノ演説(全文)(識別証拠)	"	
	" A	同上抜萃 日本ノ援助ニヨル中国ノ解放コソ東亜ノ解放ナリ	"	LF/E/3671A
	3672	1919.1 第一次大戦媾和会議ニオケル日本ノ提案(国際聯盟規約中ニ人種平等主義ノ挿入)	"	LF/E/3672
	3673	1942.3 大東亜建設審議会設置ノ勅令	"	LF/E/3673
	3674	大東亜建設審議会調査諮問機関設置ノ提議	"	LF/E/3674
	3675	1943.8.1 日緬同盟条約	"	
	3676	1943.9.25 日緬条約(「マレー」ノ一部ヲ「ビルマ」ニ編入)	"	LF/E/3676
	3677	第八十一議会衆議院速記録(識別証拠)	"	
	" A	1943.12.2 東条首相施政方針演説(「ビルマ」ノ独立ノ確約)	"	LF/E/3677A
	3678	1943.9.14 比島独立準備委員会起案ノ比島国憲法(識別証拠)	"	
	3679	1943.10.14 日比同盟条約	"	LF/E/3679
	3680	1941.12.21 日泰同盟条約	"	LF/E/3680
	係告	3681	1942.10.28 日泰文化協定	"
3682		1943.8.20 「マレー」四州ヲ泰国ニ編入スル事ニ関スル条約	"	LF/E/3682
3683		一復文書課長証明書(1943.5.31 御前会議決定「大東亜政策指導大綱」)	"	LF/E/3683

立段	証階	書証番	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人	東条被	3684	第八十二議会速記録 (識別証拠)	22.12.30 (344)	
		// A	同上抜萃 東条首相ノ施政演説(蘭印ニ対スル措置)	//	LF/E/3684A
		3685	大東亜会議ニ於ケル日本ノ声明(アンダマンニコバルノ印度編入)	//	LF/E/3685
		3686	大東亜会議ニオケル「チャンドラ・ボーズ」ノ演説	//	LF/E/3686
		3687A	西園寺・原田日記(1940.7連絡会議決定事項ノ件) (識別証拠)	23.1.5 (347)	
		3688	1940.9.3閣議決定	//	LF/E/3688
	梅津被	3689	竣部健太郎口述書(梅津陸軍次官ノ軍人ノ政治関与反対ノ態度)	23.1.7 (349)	LF/E/3689
		3690	山本茂一郎訊問調書(同上)	//	LF/E/3690
		3691	西尾寿造口述書(宇垣内閣流産ノ際ノ陸軍内部事情梅津次官ノ行動)	//	LF/E/3691
		3692	「蔣政権ノ間諜指導要領」 (識別証拠)	//	
		3693	西園寺・原田日記 第174集 (同上)	//	
		// A	同上抜萃 1935.6.24附梅津・何応欽協定ニ関スル梅津言明	//	LF/E/3693A
		3694	1946.9.17在日中国代表→GHQ覚書(酒井隆中將ノ出廷不能理由ニ関スル回答)	//	LF/E/3694
		3695	「E.J.ネーサン」口述書(梅津次官ノ開港炭鉱ニ対スル好意的態度)	//	LF/E/3695
係	3696	「ビゴット」少將口述書(梅津次官ノ態度)	//	LF/E/3696	
	3697	飯沼 守口述書(梅津ノ関東軍司令官選抜ノ事情)	//	LF/E/3697	

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日(公判日次)	請求記号		
個人	梅	3698	武部六蔵口述書(梅津軍司令官ノ対ノ態度)	23. 1. 7 (349)	LF/E/3698	
		3699	武居清太郎口述書(太平洋戦争勃発ト関東軍ノ関係, 梅津ノ日米開戦ニ対スル態度)	〃	LF/E/3699	
		3700	1941.1.25 兵団長会同席上軍参河長ノ講演要旨	〃	LF/E/3700	
		3701	1941.4.26 同 上	〃		
	津	3702	1940.12 木村関東軍参謀長→陸軍次官(満洲国軍ニ日本人採用ノ件) (識別証拠)	23. 1. 8 (350)		
		3703	田中隆吉口述書(梅津ノ日米戦回避ノ態度)	〃	LF/E/3703	
		3704	井上忠男口述書(現地ニ於ケル残虐行為ニ関スル報告ト梅津総長トノ関係)	〃	LF/E/3704	
		被	3705	下村 定口述書(終戦前ノ米飛行士処刑ニ対スル梅津総長ノ態度)	〃	LF/E/3705
			3706	若松只一口述書(1945.8.14 陸軍首脳部ノ申合せ事項)	〃	LF/E/3706
			3707	1945.8.14 陸軍ノ方針(皇軍へ飽迄御聖断ニ従ヒ行動ス)	〃	LF/E/3707
			3708	池田純久陸軍ノ方針(参謀総長ノ内命ヲウケシ際ノ梅津ノ態度, 終戦ニ対スル梅津ノ態度)	〃	LF/E/3708
		告	3709	金光庸夫口述書(梅津次官ノ陸軍ノ政治関与反対ノ態度)	〃	LF/E/3709
一般	3710		1945.9 米関税委員会ノ作成セル日本ノ貿易ニ関スル報告書 (識別証拠)	〃	LF/E/3710	
	〃 A	同上抜萃	〃			
	関	3711	日本ノ貿易ニ関スル報告書(船舶工業) (識別証拠)	〃	LF/E/3711	
		〃 A	同上抜萃	〃		
係						

立証段階	証書番号	書証名(内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
一般関係	3712	日本ノ貿易ニ関スル報告書(日本内地ノ海外貿易) (識別証拠)	23. 1. 8 (350)	LF/E/3712
	" A	同上抜萃	"	
	3713	日本ノ貿易ニ関スル報告書(関東州租借地) (識別証拠)	"	LF/E/3713
	" A	同上抜萃	"	
	3714	日本貿易ニ関スル報告書	"	
個人関係	荒被木告 3715	香坂昌康口述書(昭和8年地方長官会議ト荒木陸相演説ニ関スル武部六蔵証言ノ反駁)	"	LF/E/3715
	3716	「グルー」口述書(広田ノ日米関係ニ対スル態度)	"	LF/E/3716
	" A	同上(1933.10 広田「グルー」会談)	"	LF/E/3716A
	" B	同上(1937.9.1 同上)	"	LF/E/3716B
	" C	同上(1937.12.24 同上)	"	
	3717	「クレギー」訊問調書(広田ノ日英関係ニ対スル態度)	"	LF/E/3717
嶋被田告 3718	嶋田繁太郎口述書(脅迫問題ニ関スル東郷証言ノ反駁)	23. 1. 9 (351)	LF/E/3718	
係	3719	総力戦研究所作成「大東亜共栄圏建設原案草稿」 表紙	"	LF/E/3719
	" A	同上第1頁	"	LF/E/3719A
	3720	第1回総力戦机上演習綴第1頁	"	LF/E/3720
	" A	同上第2頁	"	

立証段階	証書番号	書証名 (内容要旨)	法廷提出年月日 (公判日次)	請求記号
個人関係	星被野告 3721	「第1回総力戦机上演習経過記録」ノ表紙	23. 1. 9 (351)	LF/E/3721
	大島被告 3722	小島秀雄口述書(首藤要人証言ノ反駁)	〃	LF/E/3722
	3723	伍堂卓雄口述書(同上)	〃	LF/E/3723
一般関係	ソ 3724	片倉 衷口述書(満洲国軍ノ統帥権国兵法ト対「ソ」軍備ノ関係)	23. 1.12 (352)	LF/E/3724
	3725	小尾哲三口述書(同上)	〃	LF/E/3725
	3726	半田敏治口述書(満洲国々民勤勞奉公制度ノ説明其ノ他)	〃	LF/E/3726
	3727	高倉 正口述書(満洲国第二次五ヶ年計画, 梅津ノ対ノ観)	〃	LF/E/3727
	3728	甲谷悦雄口述書(情報勤務者ト作戰計画ニ関スル松浦証言ノ反駁)	〃	LF/E/3728
	3729	服部直博口述書(関特演, 関東軍作戰計画ニ関スル松浦証言ノ反駁)	〃	LF/E/3729
	3730	大越兼二口述書(関東軍ニ於ケル占領地行政ノ研究)	〃	LF/E/3730
	3731	池田純久口述書(同上關聯南方占領地視察ノ件) (識別証拠)	〃	LF/E/3731
	3732	一復文書課長ノ文書不存在ニ関スル証明書	〃	LF/E/3732
	3733	同上	〃	LF/E/3733
個人関係	東被郷告 3734	岡田啓介口述書(東郷ノ平和外交ニ対スル態度其ノ他)	〃	LF/E/3734
一般関係	支關那係 (3738)	1937.8.8 上海附近ノ地図	23. 1.13 (353)	